

## 第4章 日常生活

### 1 交流の場への参加状況

#### (1) ボランティアのグループへの参加

問5-Q1-① ボランティアのグループに参加していますか。

ボランティアのグループへの参加については、市全体でみると「参加している」割合が12.0%となっている。「参加している」割合を男女別にみると、男性が12.3%、女性が11.8%であり、ほぼ同じ割合となっている。これを年齢別にみると、75～79歳以上が23.7%で最も高くなっている。

図4-1-① ボランティアのグループへの参加【全域】

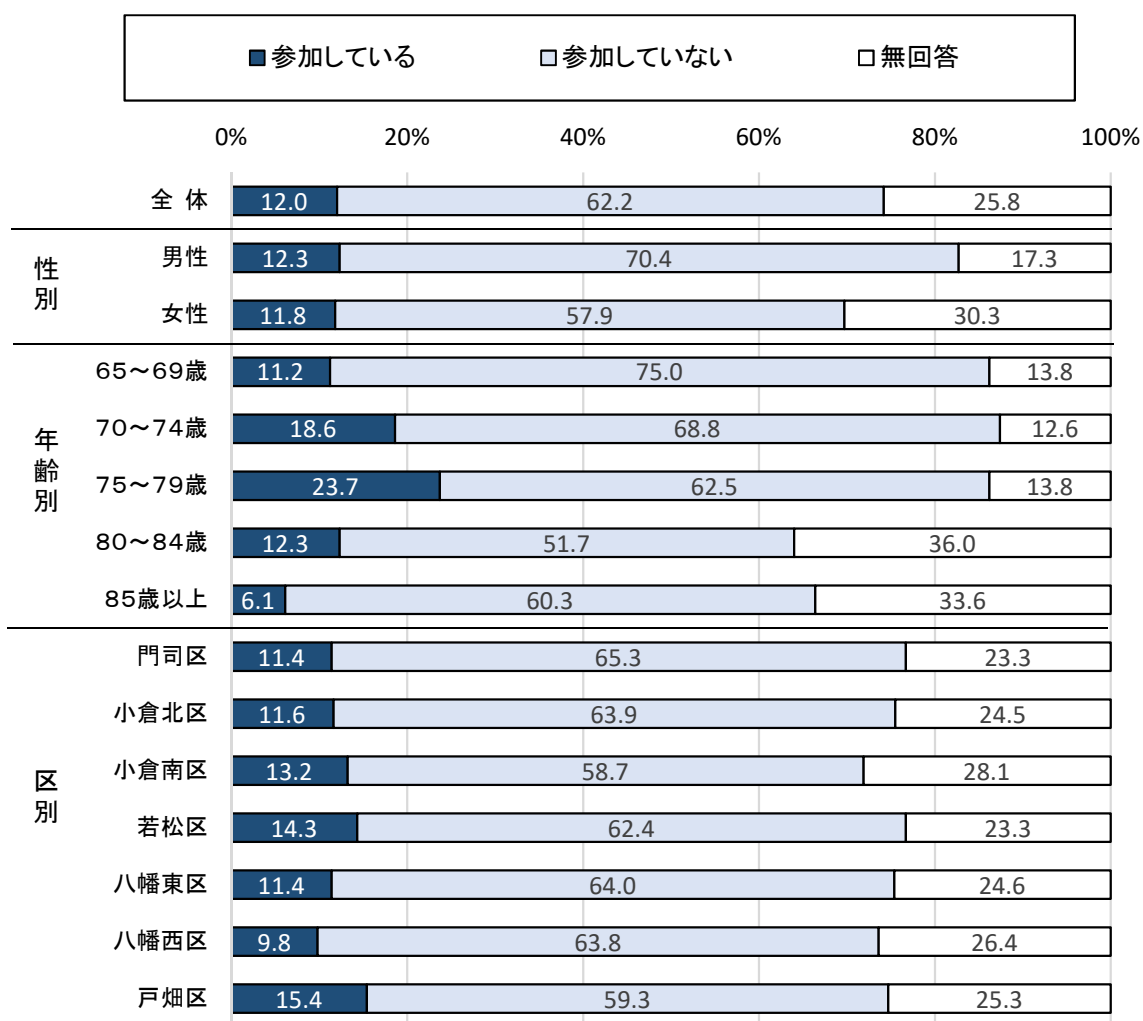
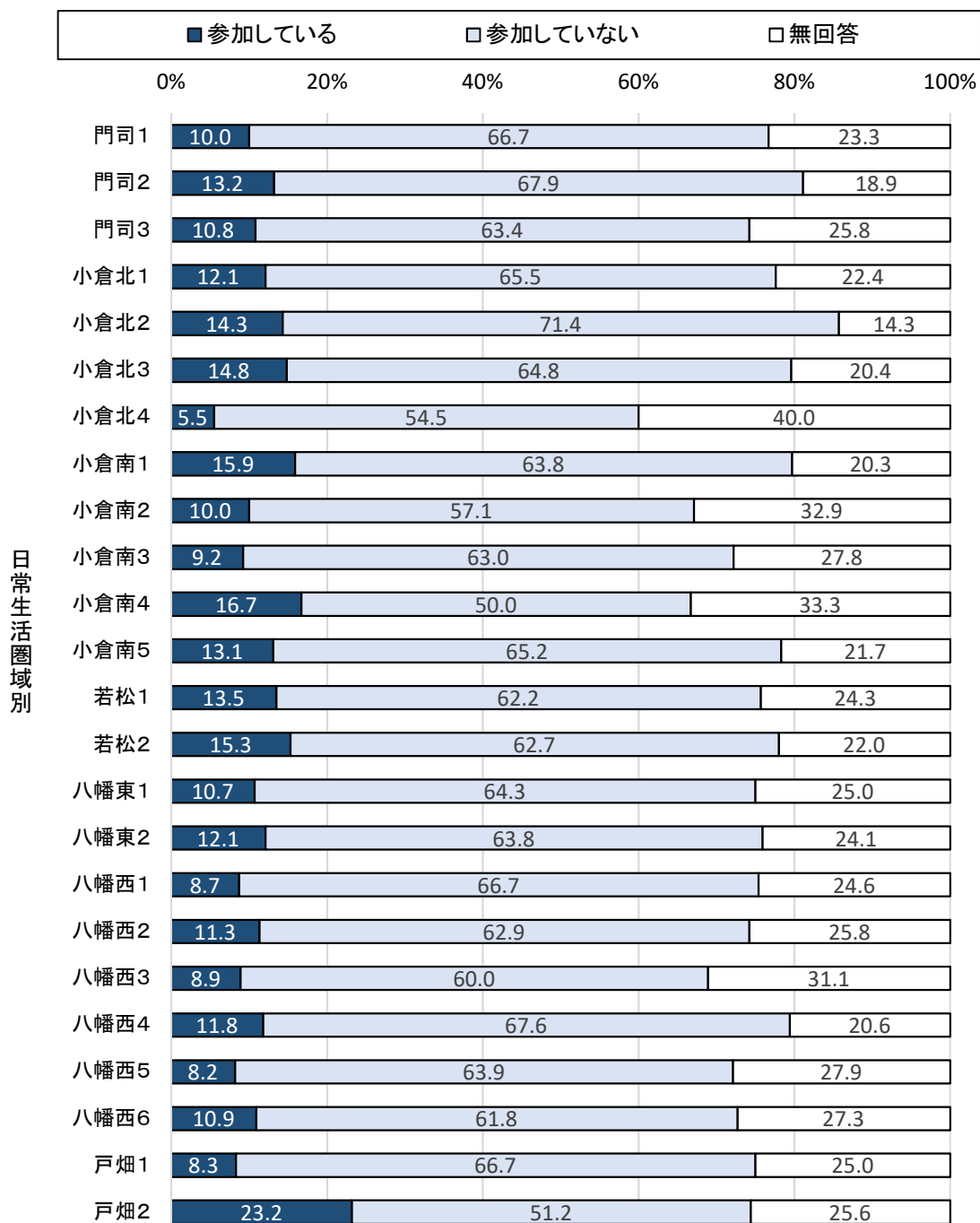


図4-1-② ボランティアのグループへの参加【日常生活圏域別】



(2) スポーツ関係のグループやクラブへの参加

問5-Q1-② スポーツ関係のグループやクラブに参加していますか。

スポーツ関係のグループやクラブへの参加については、市全体でみると「参加している」割合が17.8%となっている。「参加している」割合を男女別にみると、男性が16.8%、女性が18.6%となっており、ほぼ同じ割合である。これを年齢別にみると、70～74歳が24.7%で最も高く、年齢層が高くなるにつれ割合が下がっている。

図4-2-① スポーツ関係のグループやクラブへの参加【全域】

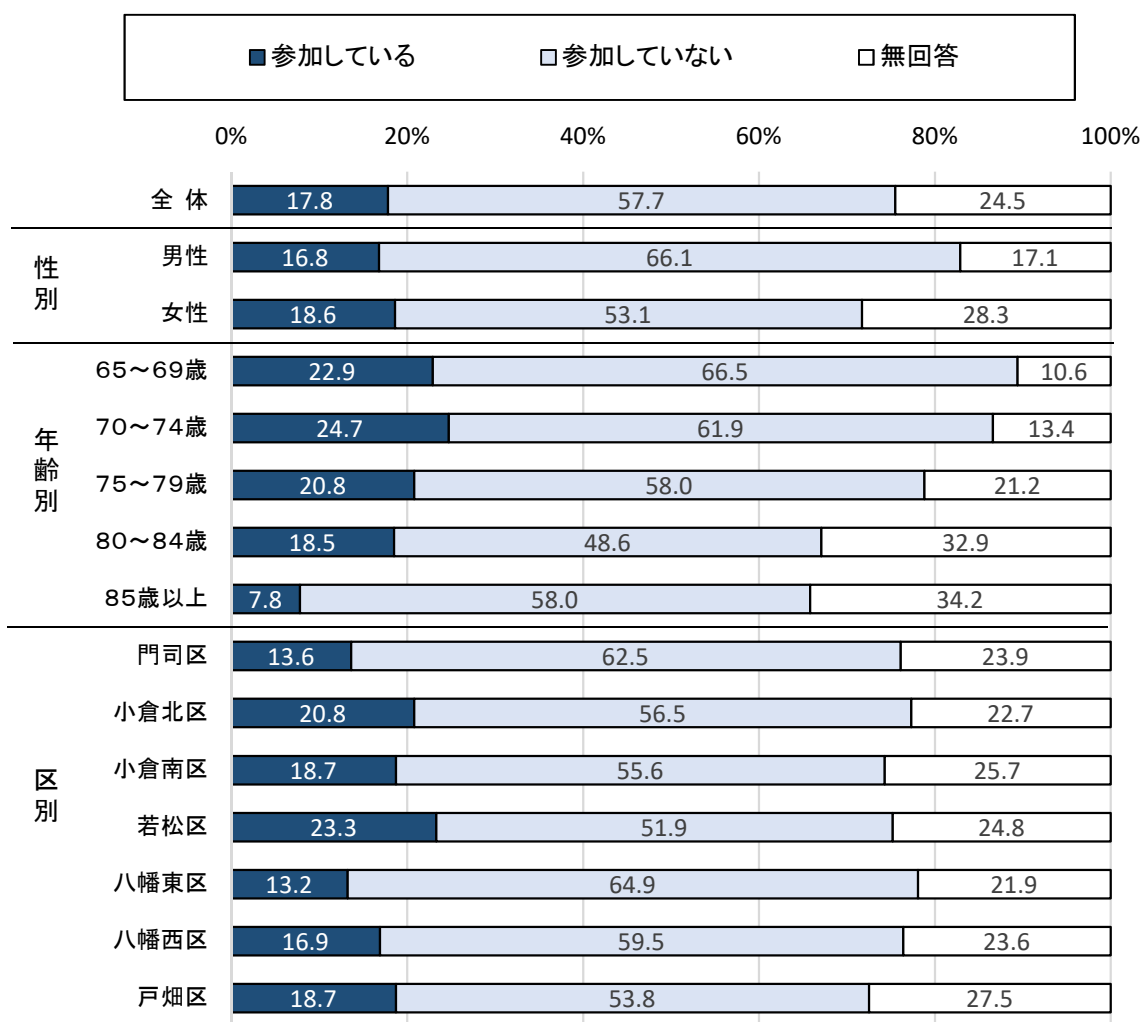
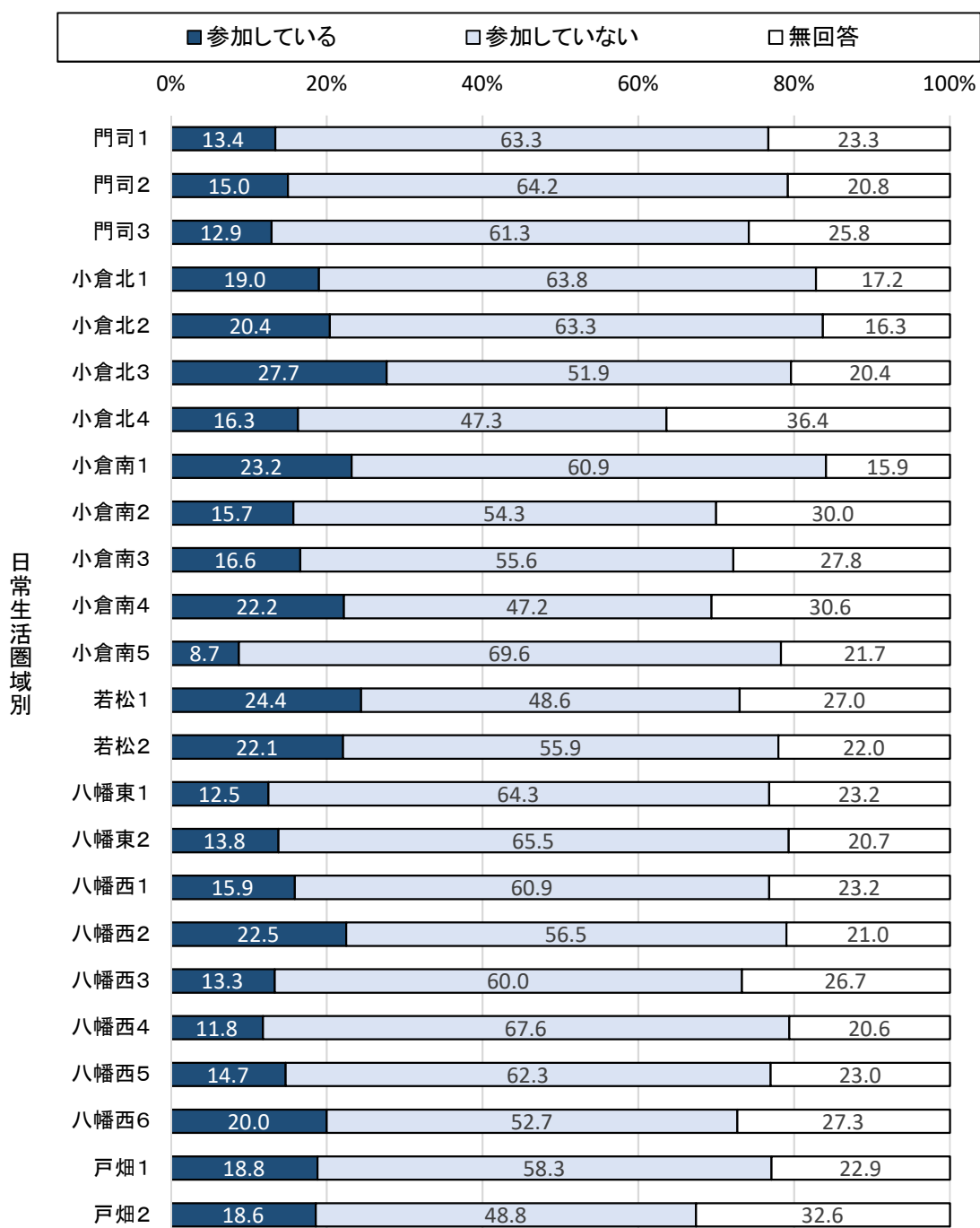


図4-2-② スポーツ関係のグループやクラブへの参加【日常生活圏域別】



### (3) 趣味関係のグループへの参加

問5-Q1-③ 趣味関係のグループに参加していますか。

趣味関係のグループへの参加については、市全体でみると「参加している」割合が10.4%となっている。「参加している」割合を男女別にみると、男性が9.1%、女性が22.1%となっており、女性の方が13ポイント高い。これを年齢別にみると、75～79歳が27.9%で最も高くなっている。

図4-3-① 趣味関係のグループへの参加【全域】

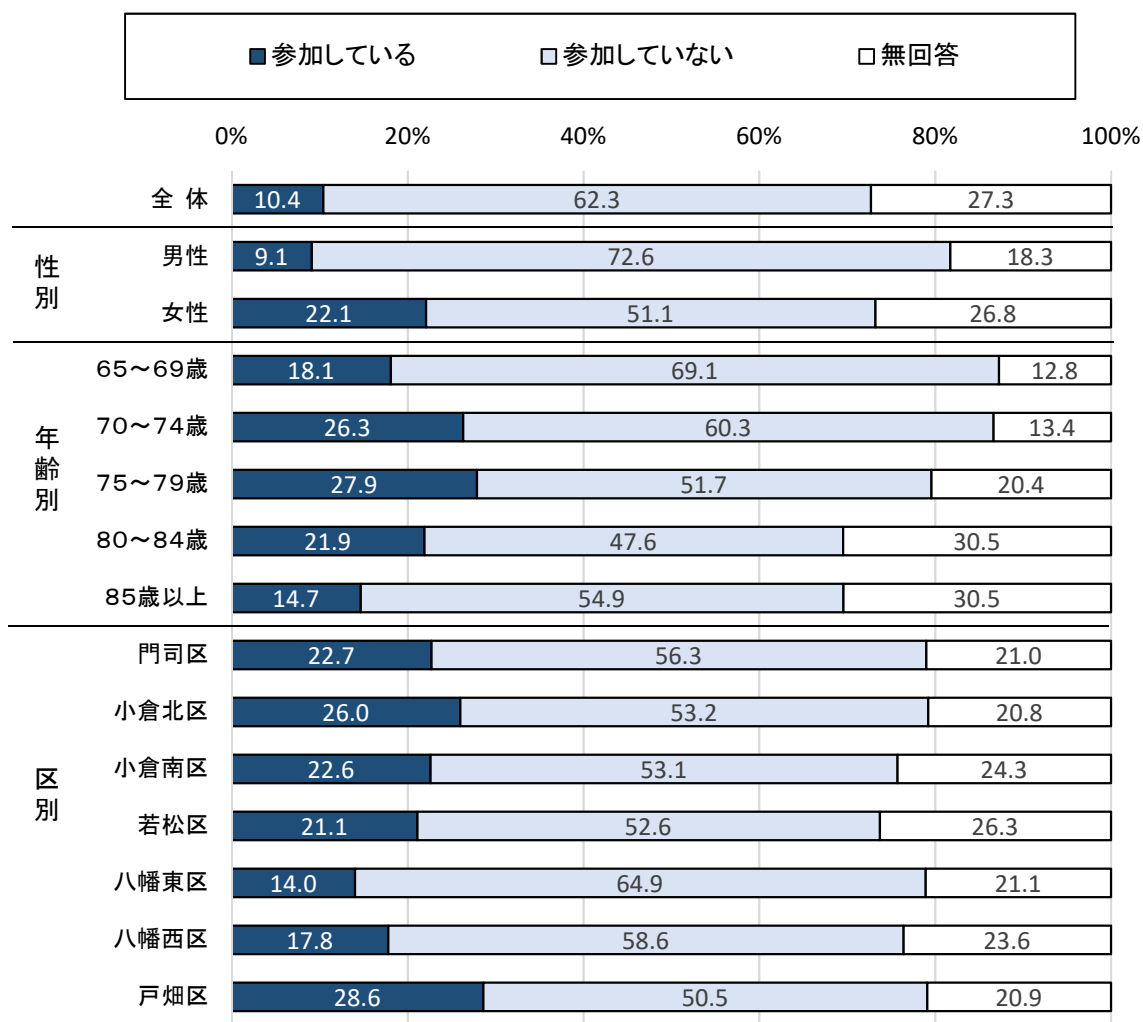
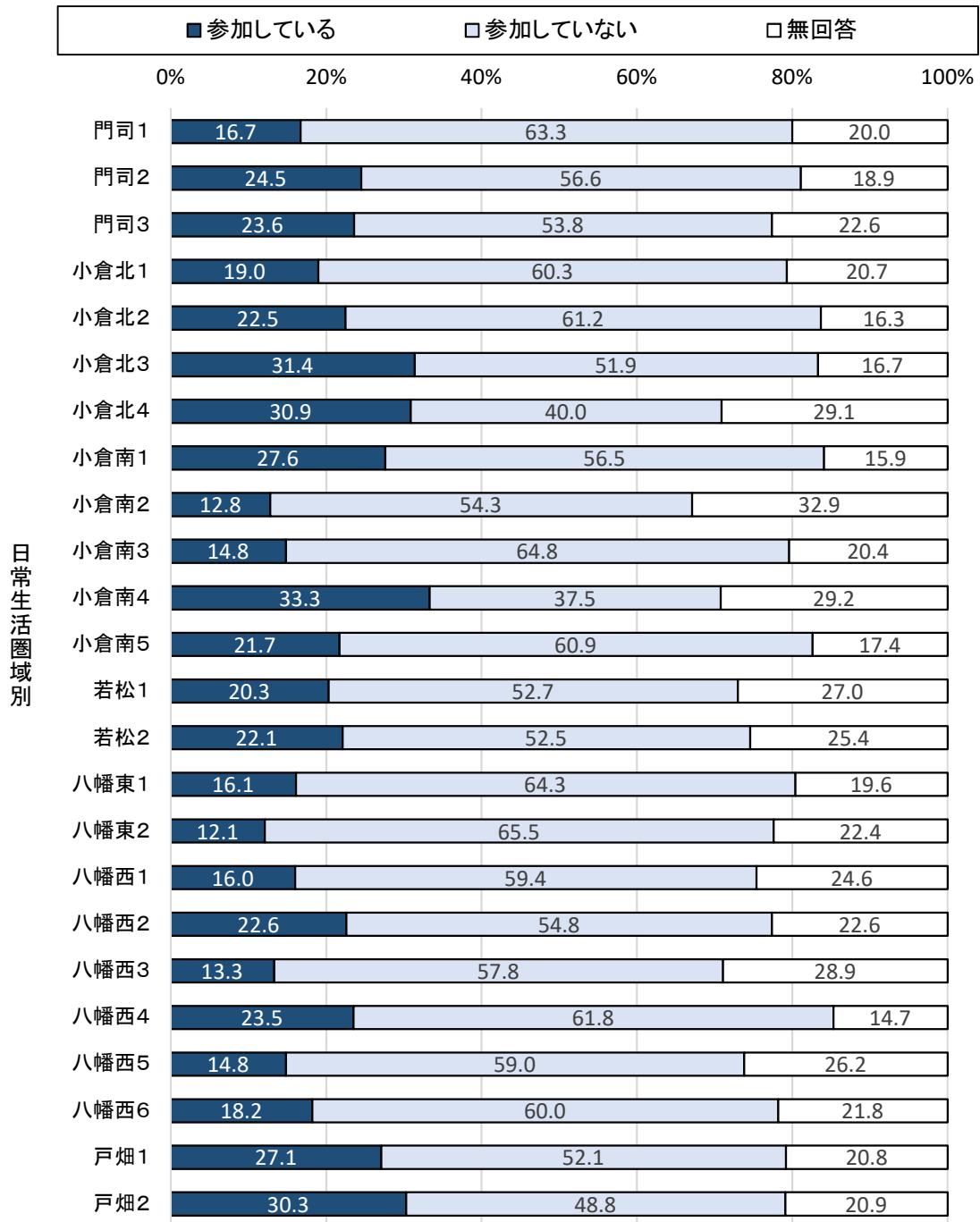


図4-3-② 趣味関係のグループへの参加【日常生活圏域別】



(4) 学習・教養サークルへの参加

問5-Q1-④ 学習・教養サークルに参加していますか。

学習・教養サークルへの参加については、市全体でみると「参加している」割合が10.4%となっている。「参加している」割合を男女別にみると、男性が9.1%、女性が11.1%となっており、大きな差はない。これを年齢別にみると、75～79歳が14.9%で最も高くなっている。

図4-4-① 学習・教養サークルへの参加【全域】

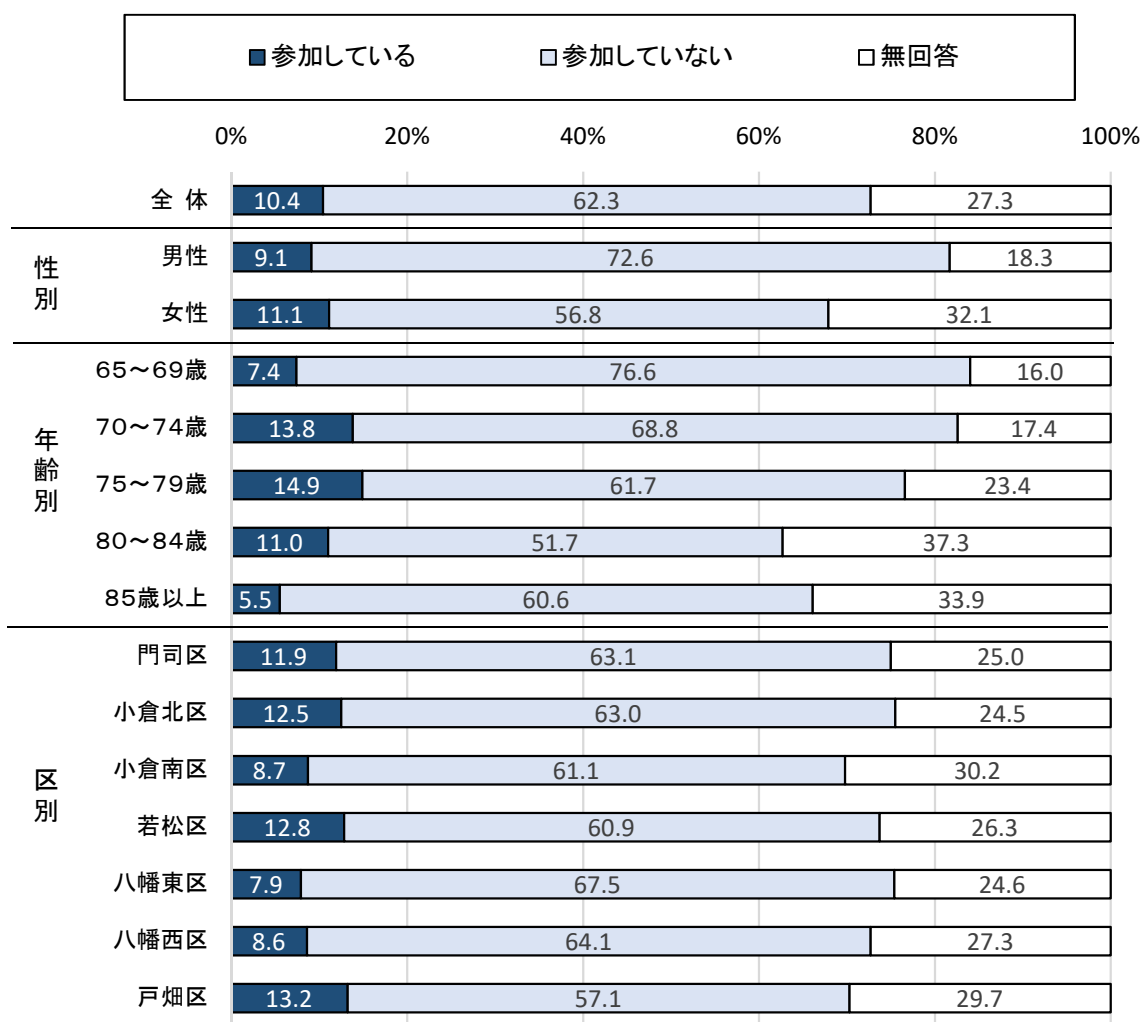
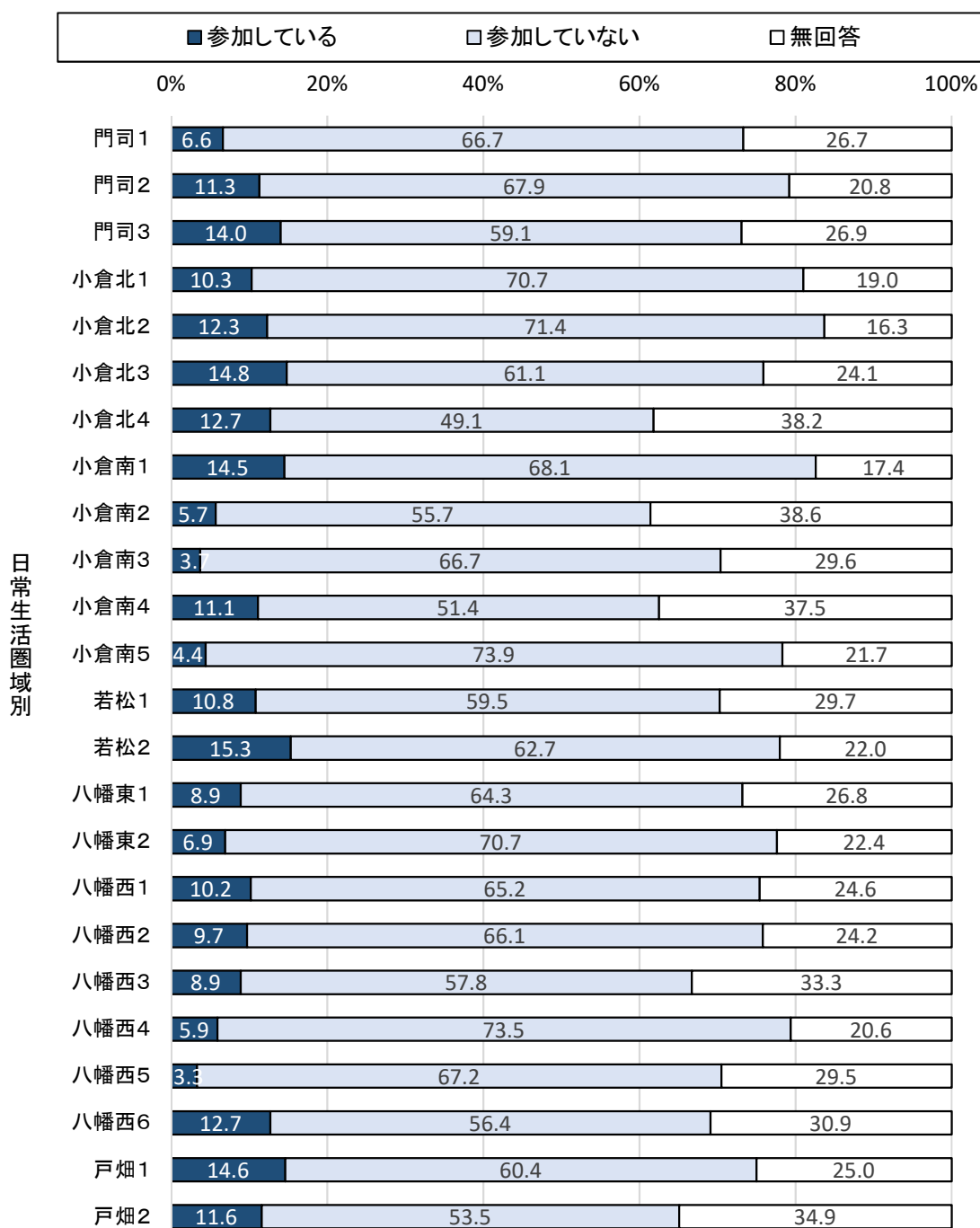


図4-4-② 学習・教養サークルへの参加【日常生活圏域別】





(5) 通いの場への参加

問5-Q1-⑤ 介護予防のための通いの場（社会福祉協議会などが行っている高齢者サロン、いきがい活動ステーション、きたきゆう体操、ひまわり太極拳、ふれあい昼食交流会 など）に参加していますか。

通いの場への参加については、市全体でみると「参加している」割合が23.4%となっている。「参加している」割合を男女別にみると、男性が17.5%、女性が26.6%となっており、女性の方が9.1ポイント高い。これを年齢別にみると、85歳以上が31.3%で最も高くなっている。

図4-5-① 通いの場【全域】

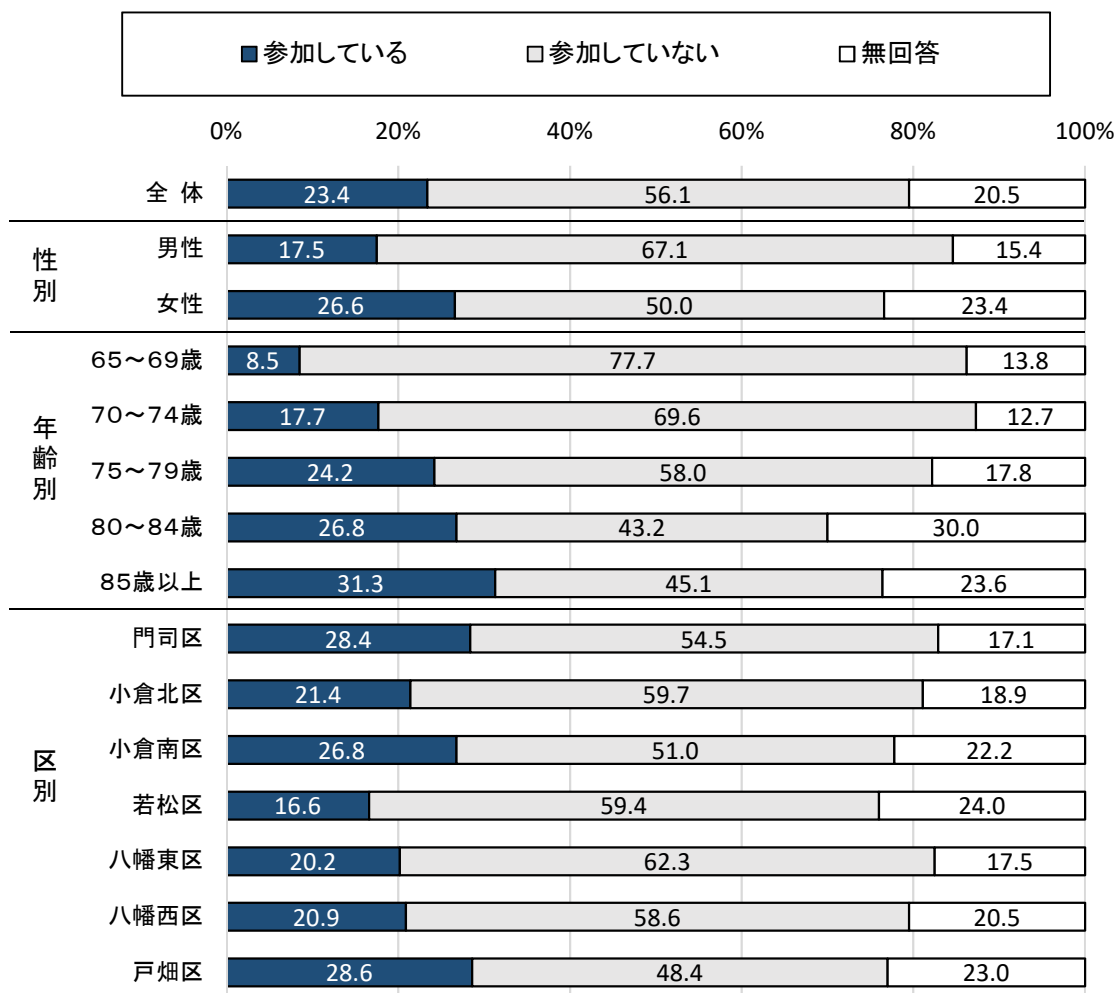
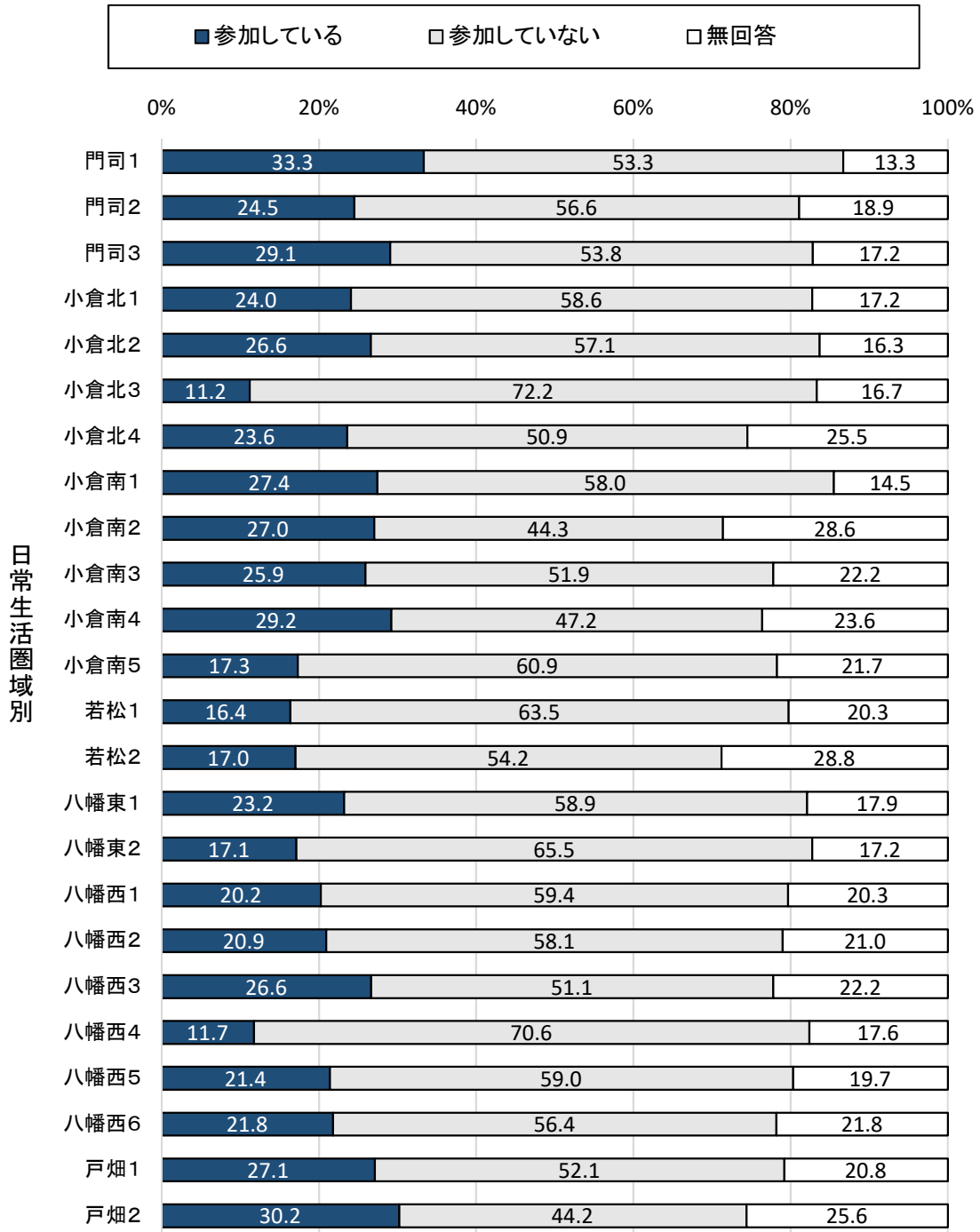


図4-5-② 通いの場【日常生活圏域別】



(6) 老人クラブへの参加

問5-Q1-⑥ 老人クラブに参加していますか。

老人クラブへの参加については、市全体でみると「参加している」割合が10.0%となっている。「参加している」割合を男女別にみると、男性が8.7%、女性が10.9%となっており、大きな差はない。これを年齢別にみると、75～79歳が13.4%で最も高くなっている。

図4-6-① 老人クラブへの参加【全域】

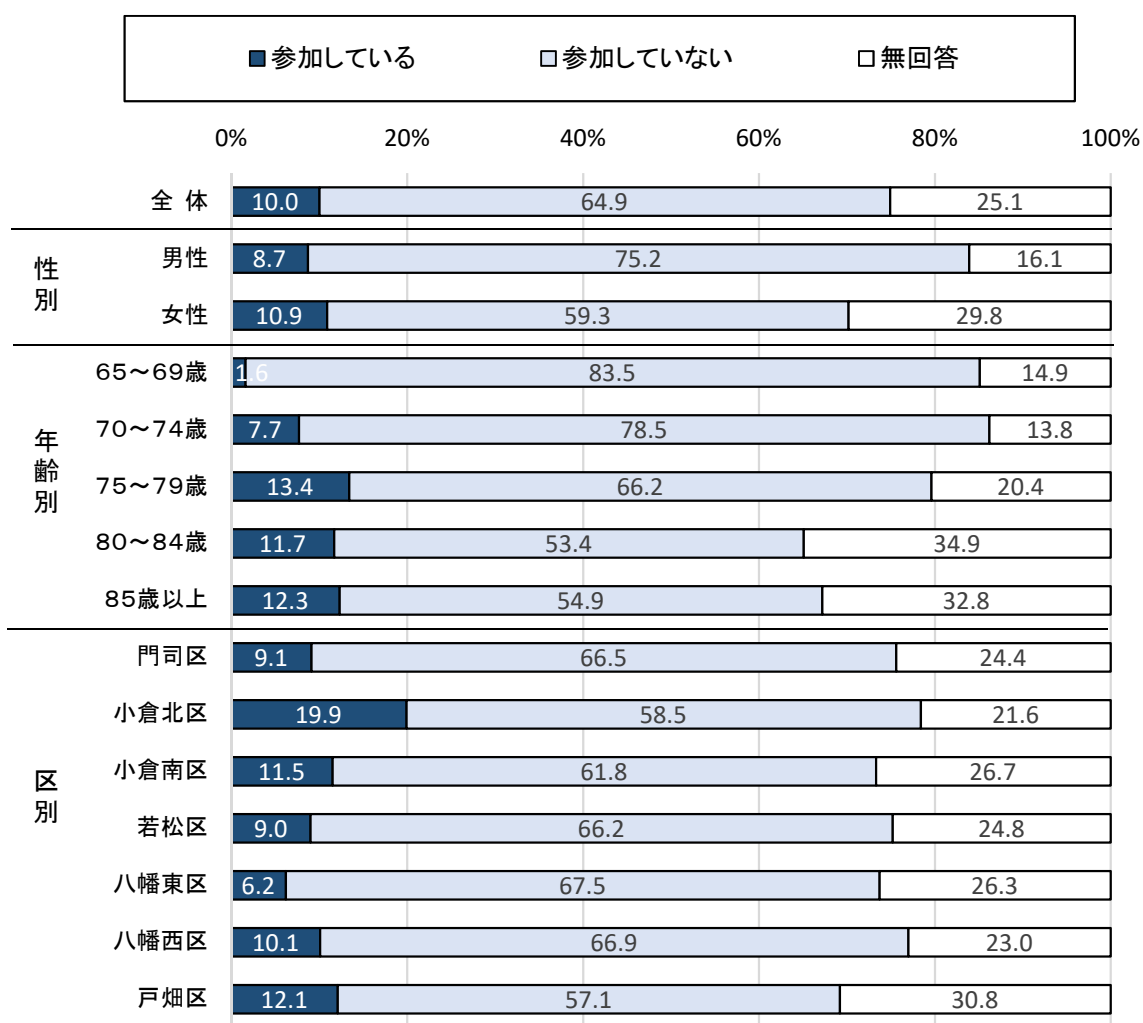
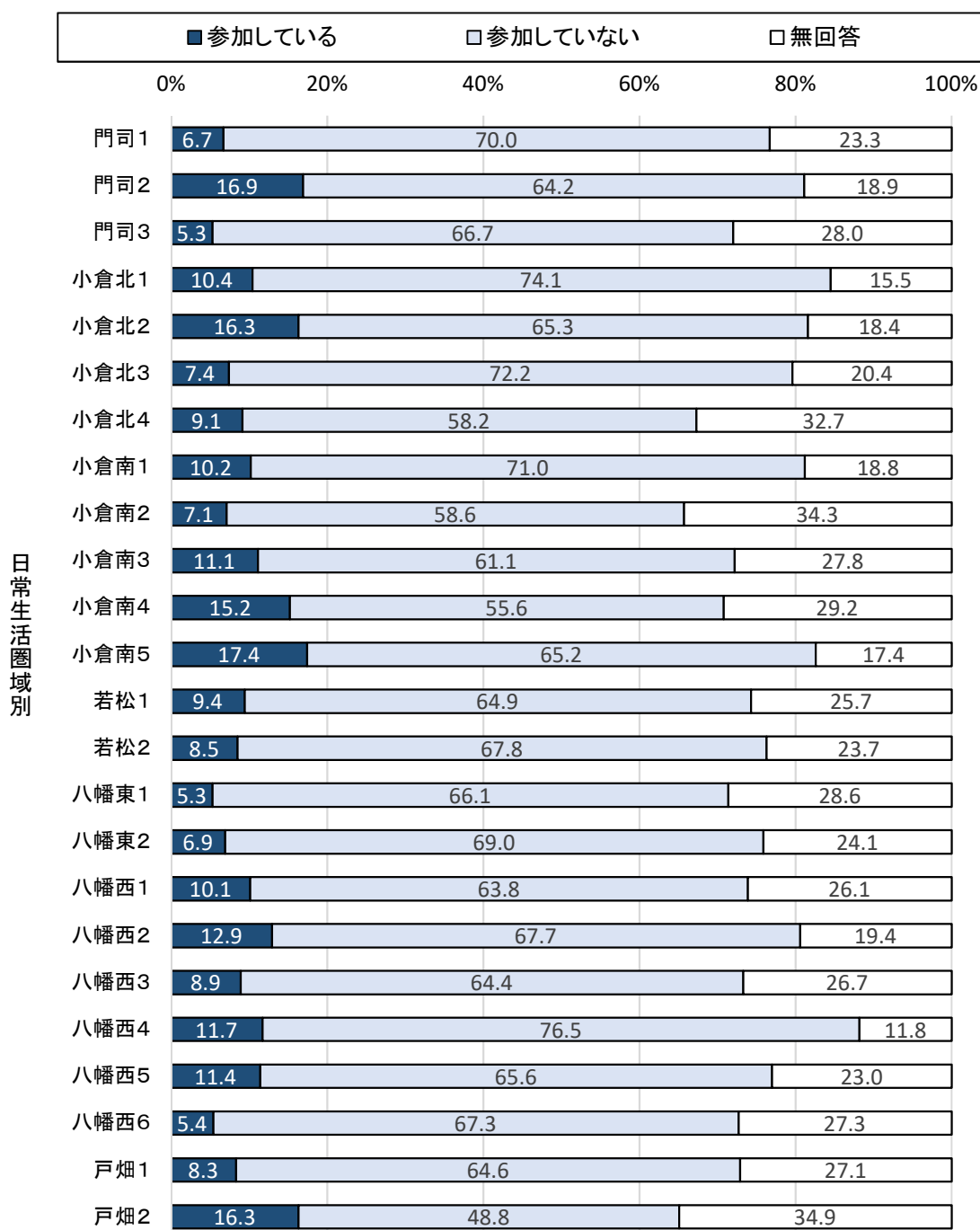


図4-6-② 老人クラブへの参加【日常生活圏域別】



(7) 町内会・自治会への参加

問5-Q1-⑦ 町内会・自治会に参加していますか。

町内会・自治会への参加については、市全体でみると「参加している」割合が21.3%となっている。「参加している」割合を男女別にみると、男性が22.4%、女性が20.5%となっており、ほぼ同じ割合となっている。これを年齢別にみると、70～74歳が33.6%で最も高くなっている。

図4-7-① 町内会・自治会への参加【全域】

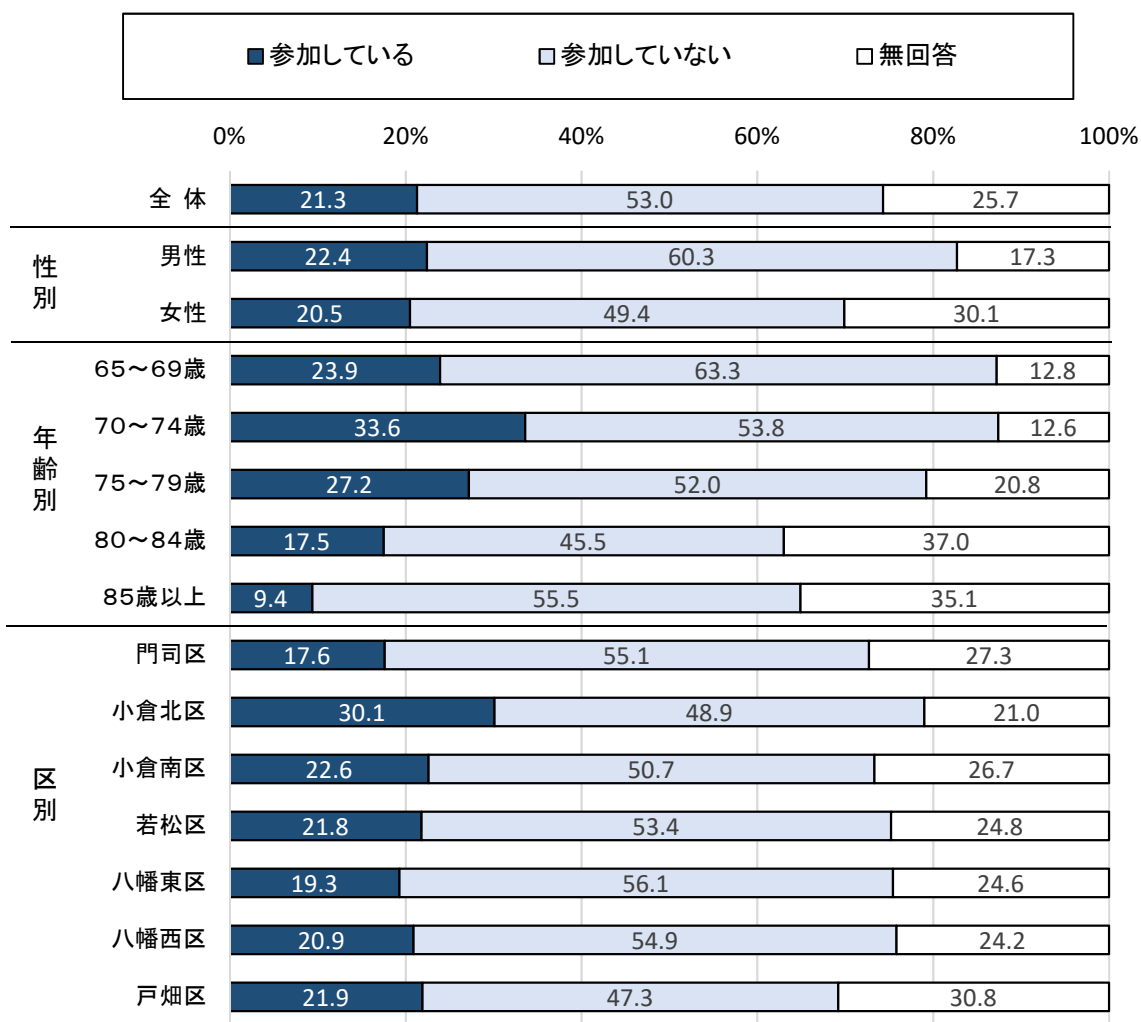
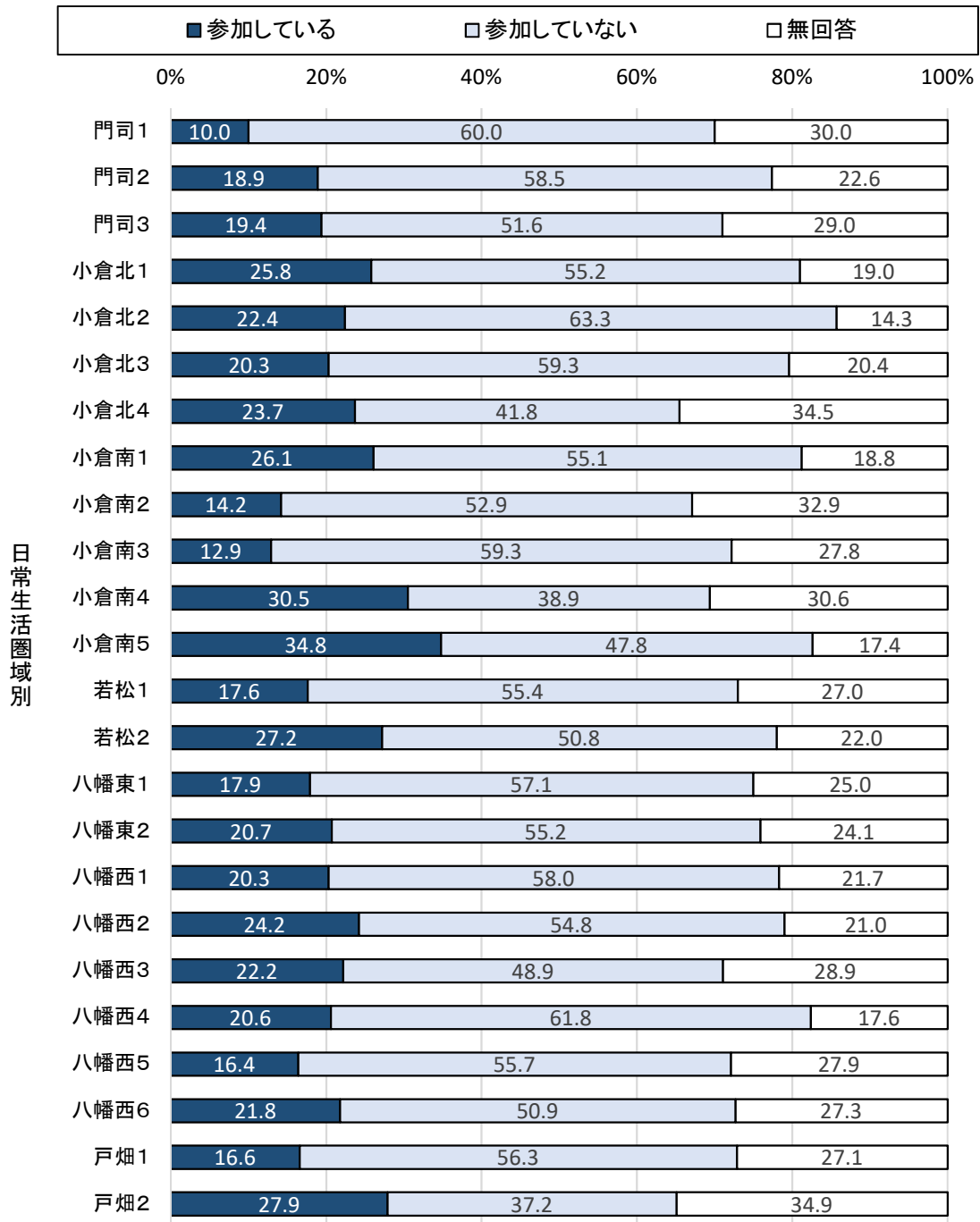


図4-7-② 町内会・自治会への参加【日常生活圏域別】



(8) 収入のある仕事への参加

問5-Q1-⑧ 収入のある仕事に参加していますか。

収入のある仕事への参加については、市全体でみると「参加している」割合が14.9%となっている。「参加している」割合を男女別にみると、男性が21.6%、女性が11.1%となっており、男性の方が10.5ポイント高い。これを年齢別にみると、65～69歳が42.1%で最も高く、年齢層が上がるにつれ割合が下がっている。

図4-8-① 収入のある仕事への参加【全域】

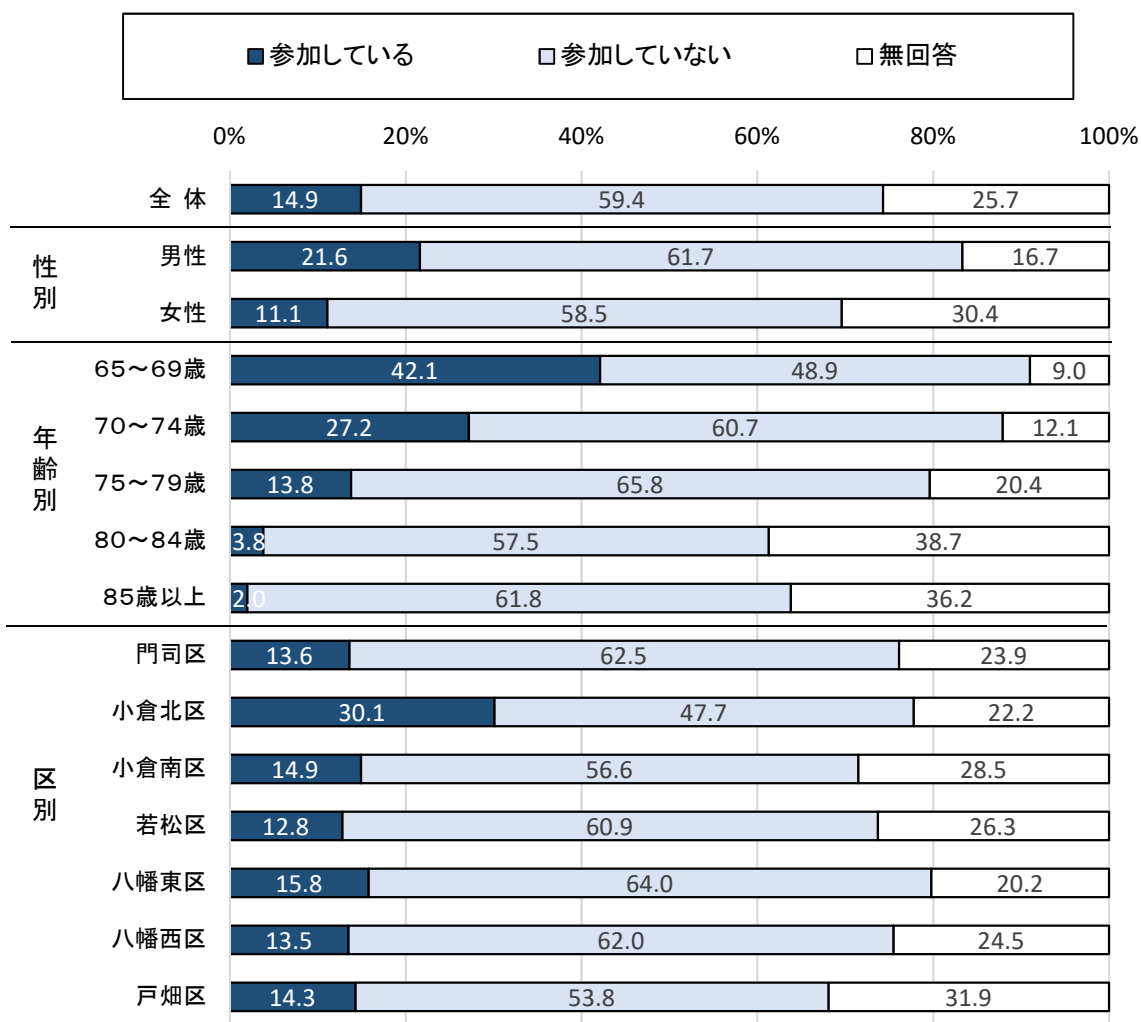
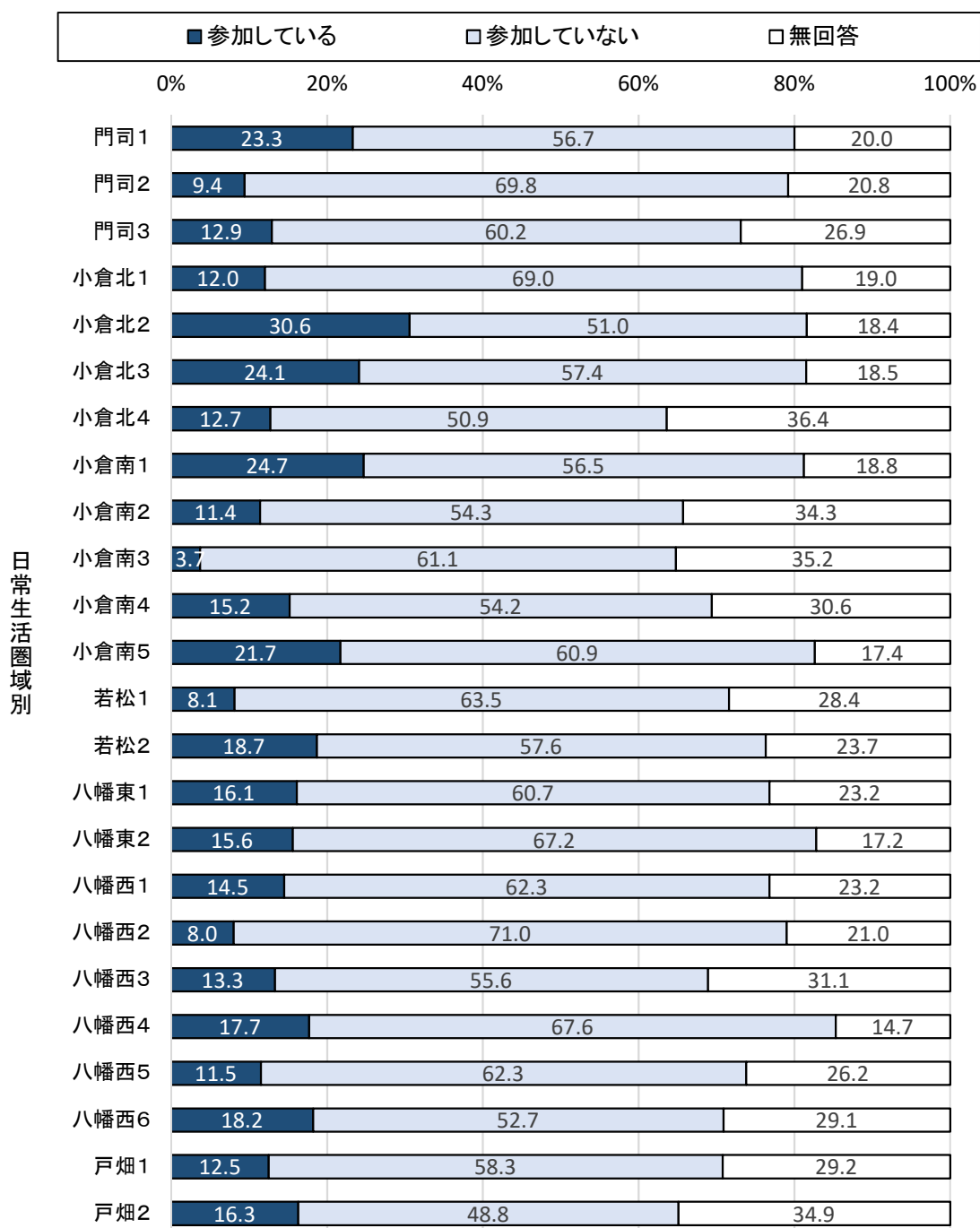


図4-8-② 収入のある仕事への参加【日常生活圏域別】





(9) 地域活動への参加意向

問5-Q2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

地域住民による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加してみたいかを尋ねたところ、市全体でみると「参加の意向がある」と回答した割合は44.5%、「参加したくない」の割合は42.9%となっており、男女別にみてもおおむね同じ割合となっている。

これを年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれて「参加の意向がある」の割合が低下傾向にある。

図4-9-① 地域活動への参加意向【全域】

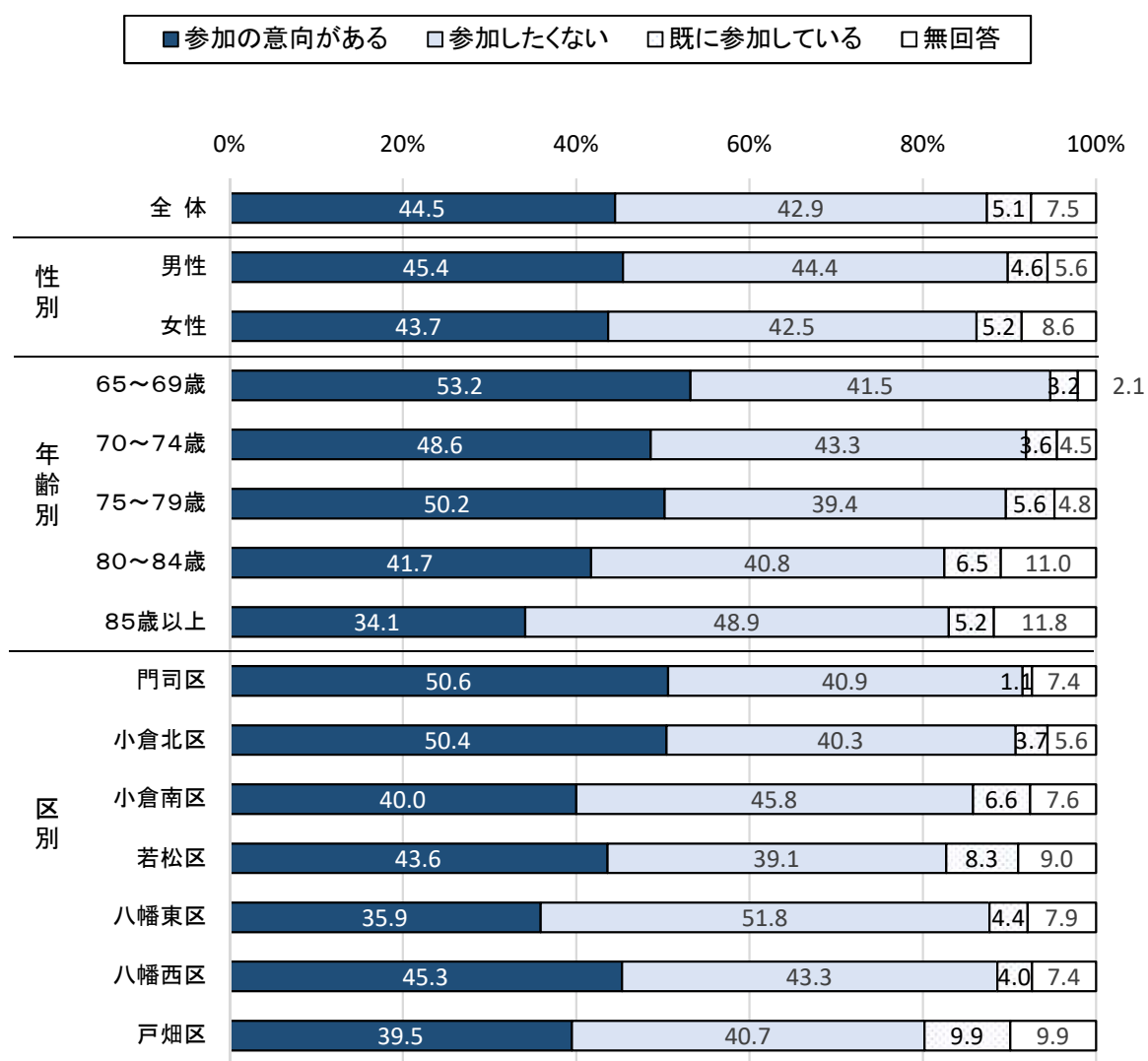
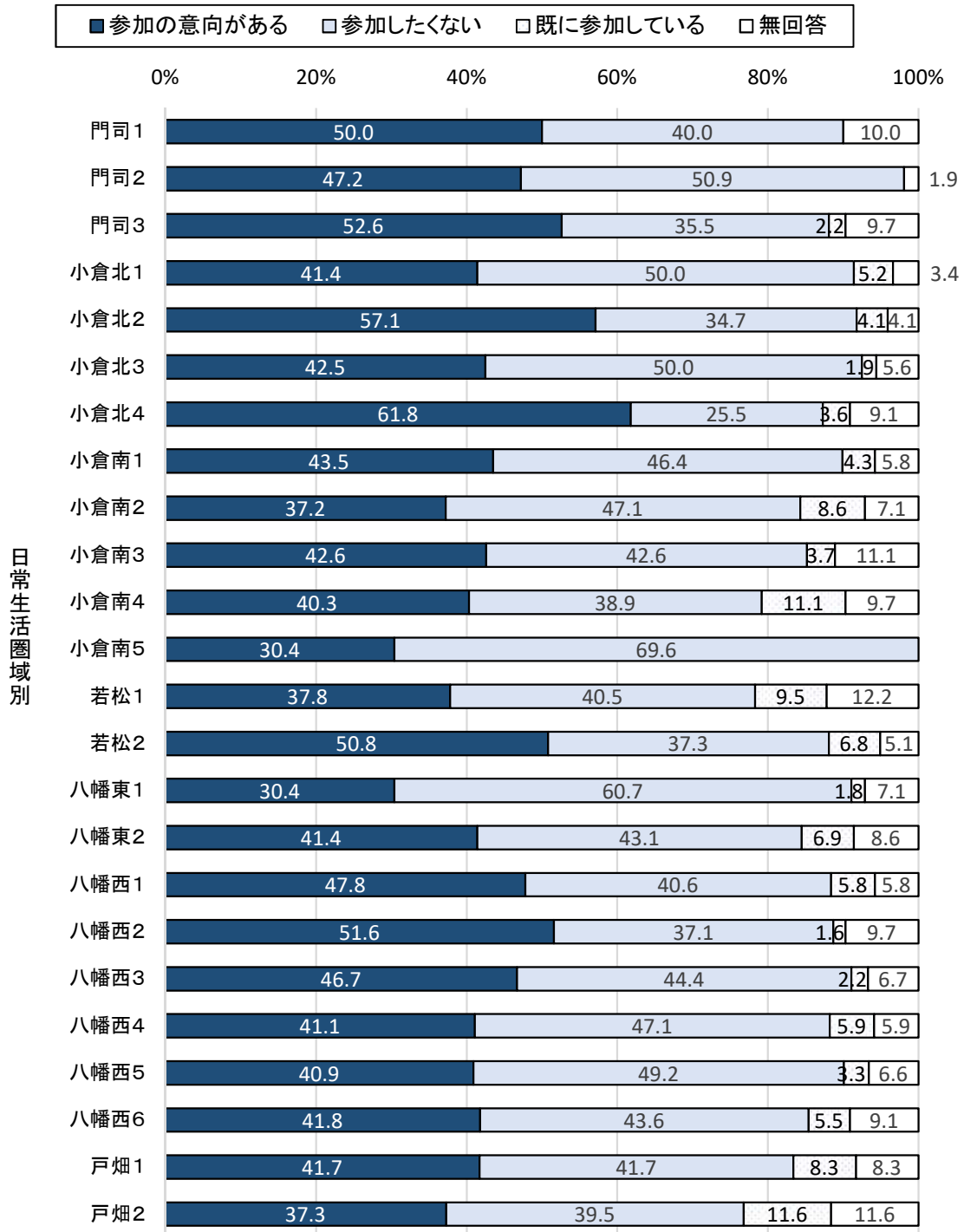


図4-9-② 地域活動への参加意向【日常生活圏域別】



(10) 地域活動の企画・運営への参加意向

問5-Q3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

地域住民による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいかを尋ねたところ、市全体でみると「参加の意向がある」と回答した割合は26.0%、「参加したくない」の割合は61.7%となっている。

「参加の意向がある」の割合を男女別にみると、男性が30.0%、女性が23.5%となっており、男性の方が6.5ポイント高い。これを年齢別にみると、65～69歳が33.0%で最も高くなっており、年齢層が高くなるにつれ割合が下がっている。

図4-10-① 地域活動の企画・運営への参加意向【全域】

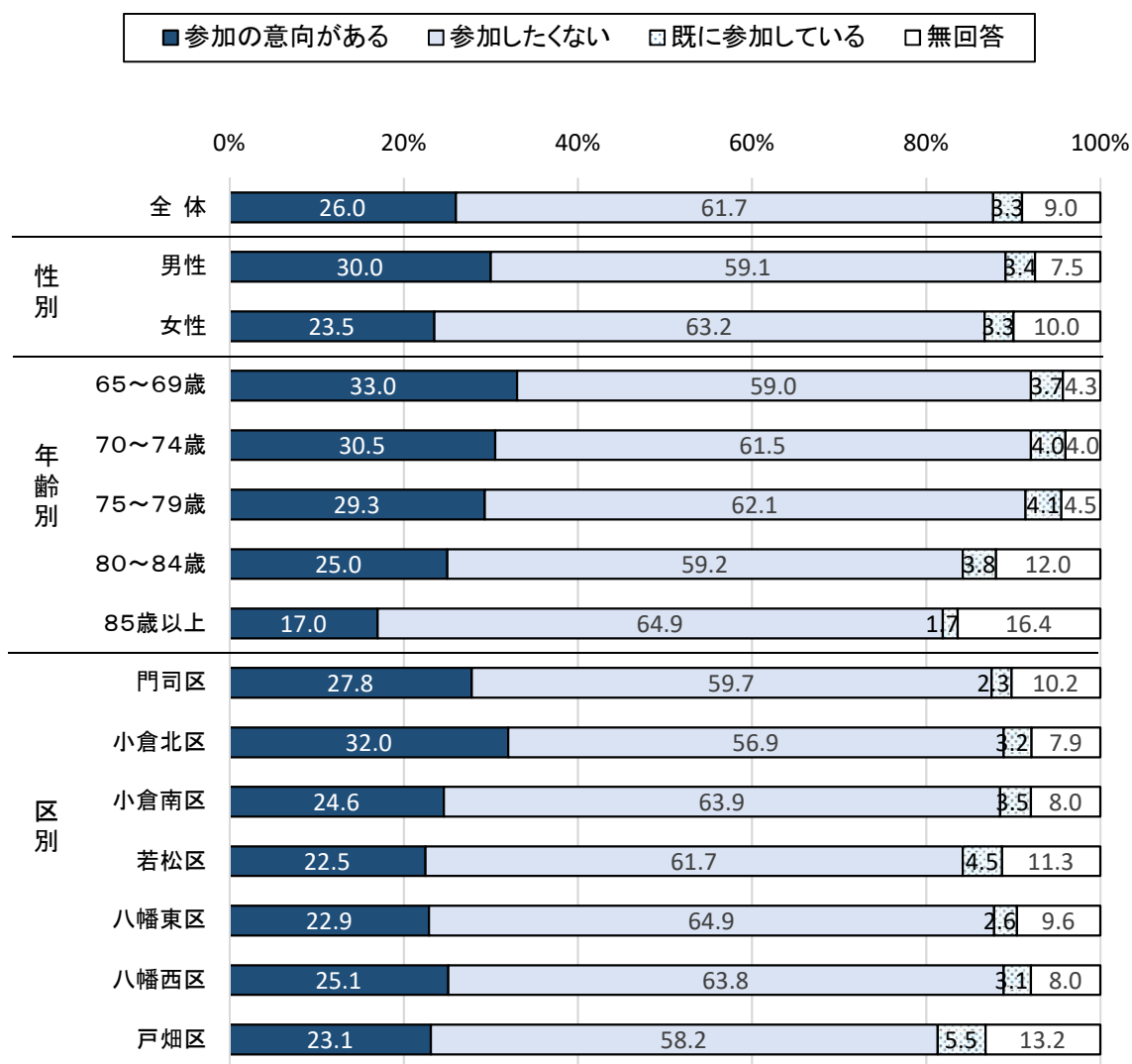
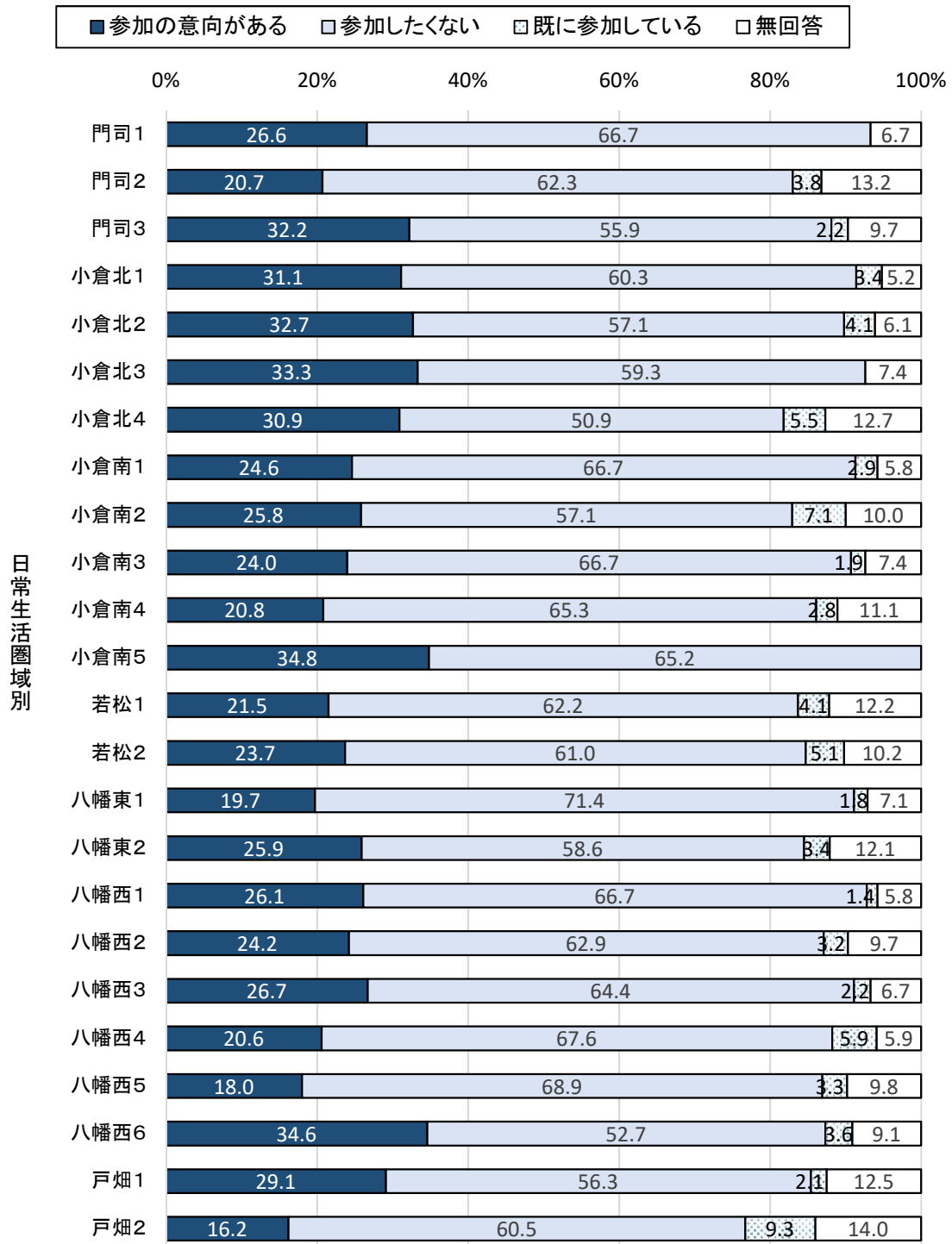


図4-10-② 地域活動の企画・運営への参加意向【日常生活圏域別】



## 2 たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6-Q1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人がいますか。

配偶者や近隣の方等、自身の心配事や愚痴を聞いてくれる人がいるかどうか尋ねたところ、市全体でみると「いる」と回答した割合が91.9%となっている。「いる」の割合を男女別にみると、男性が88.7%、女性が93.7%となっており、女性の方が5.0ポイント高い。これを年齢別にみると、75～79歳が94.4%で最も高くなっているが、年齢層が高くなっても割合に大きな差は見られない。

図4-11-① 心配事や愚痴を聞いてくれる人【全域】

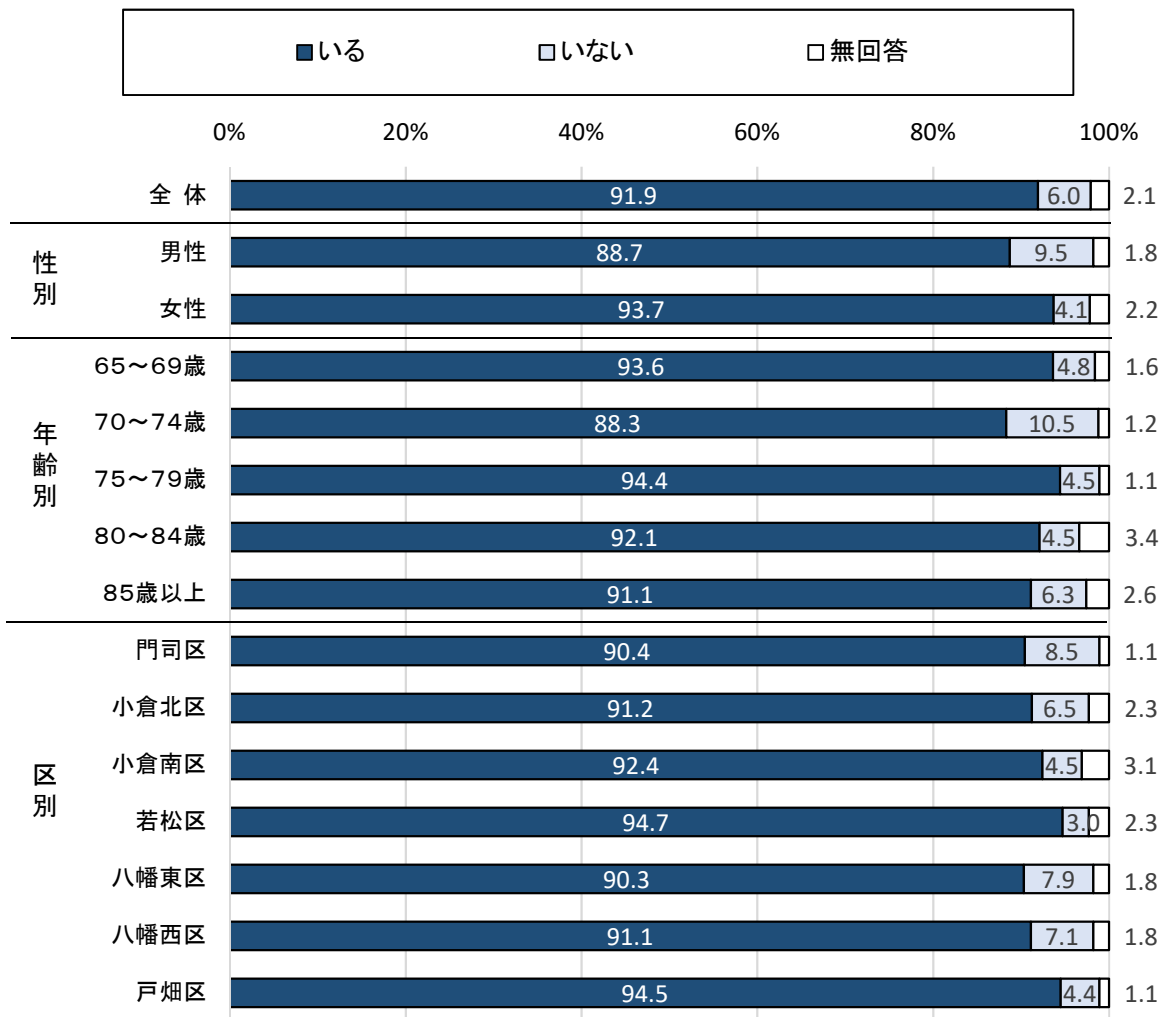
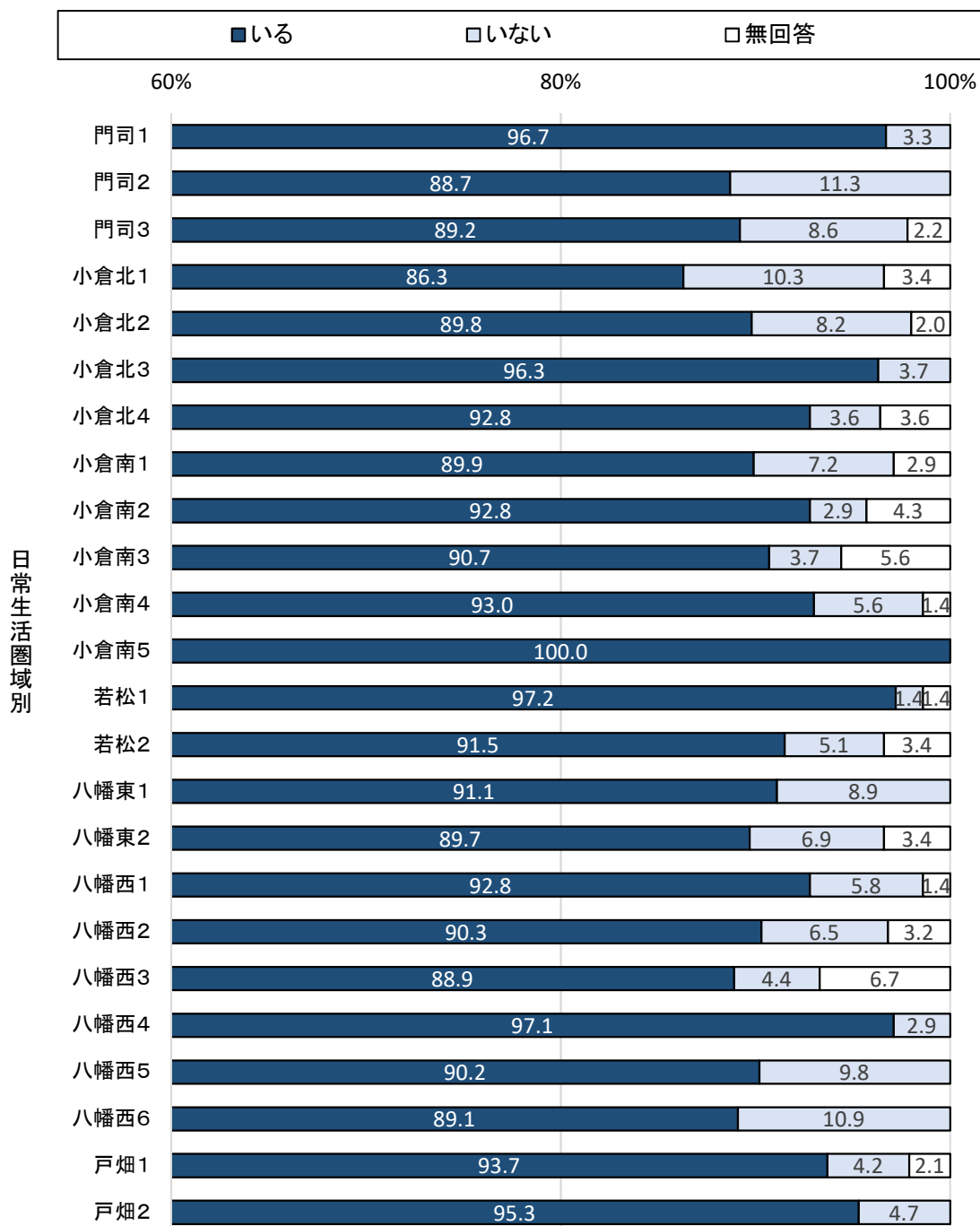


図4-11-② 心配事や愚痴を聞いてくれる人【日常生活圏域別】



(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6-Q2 あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人がいますか。

自身が心配事や愚痴を聞いてあげる人がいるかどうか尋ねたところ、市全体でみると「いる」と回答した割合が87.0%となっている。「いる」の割合を男女別にみると、男性が85.3%、女性が87.9%となっており、ほぼ同じ割合となっている。これを年齢別にみると、75～79歳が93.0%と最も高くなっている。

図4-12-① 心配事や愚痴を聞いてあげる人【全域】

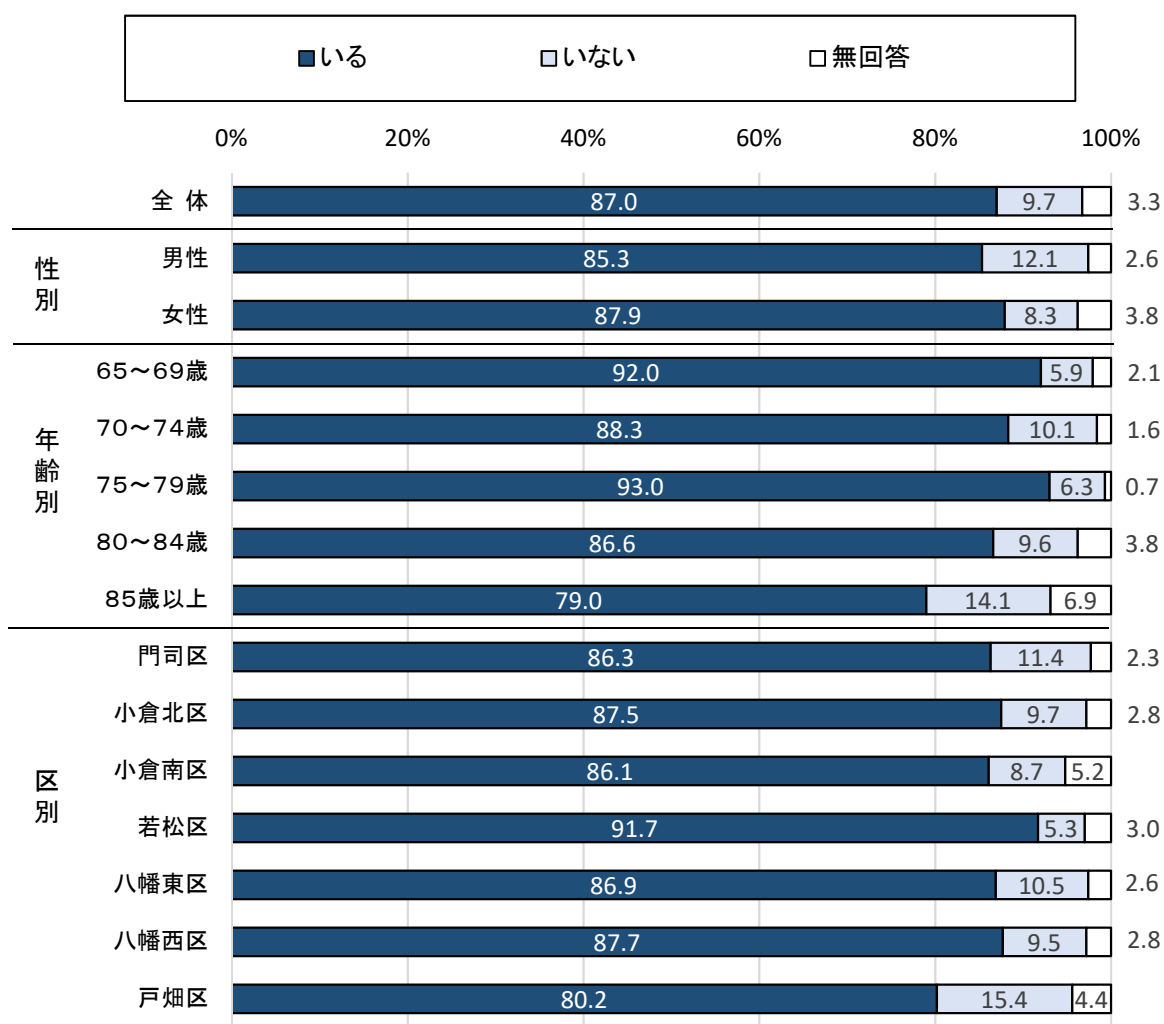
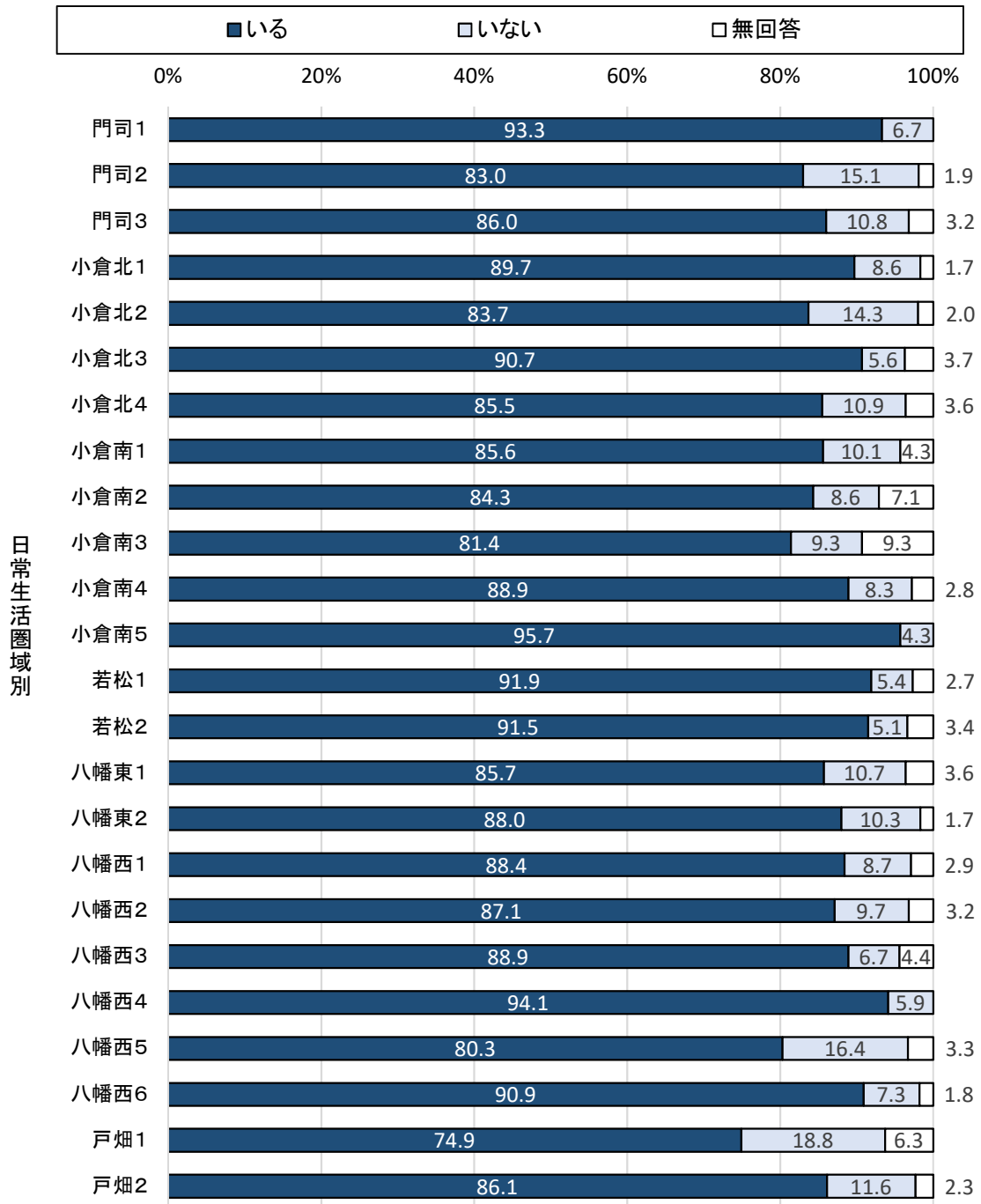


図4-12-② 心配事や愚痴を聞いてあげる人【日常生活圏域別】





### (3) 看病や世話をしてくれる人

問6-Q3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいますか。

自身が病気で寝込んだときに、配偶者や同居の方等、看病や世話をしてくれる人がいるかどうか尋ねたところ、市全体でみると「いる」と回答した割合が89.2%となっている。この割合を男女別にみると、男性が87.9%、女性が89.8%となっており、ほぼ同じ割合となっている。これを年齢別にみても、ほとんど差はなく同じ割合となっている。

図4-13-① 看病や世話をしてくれる人【全域】

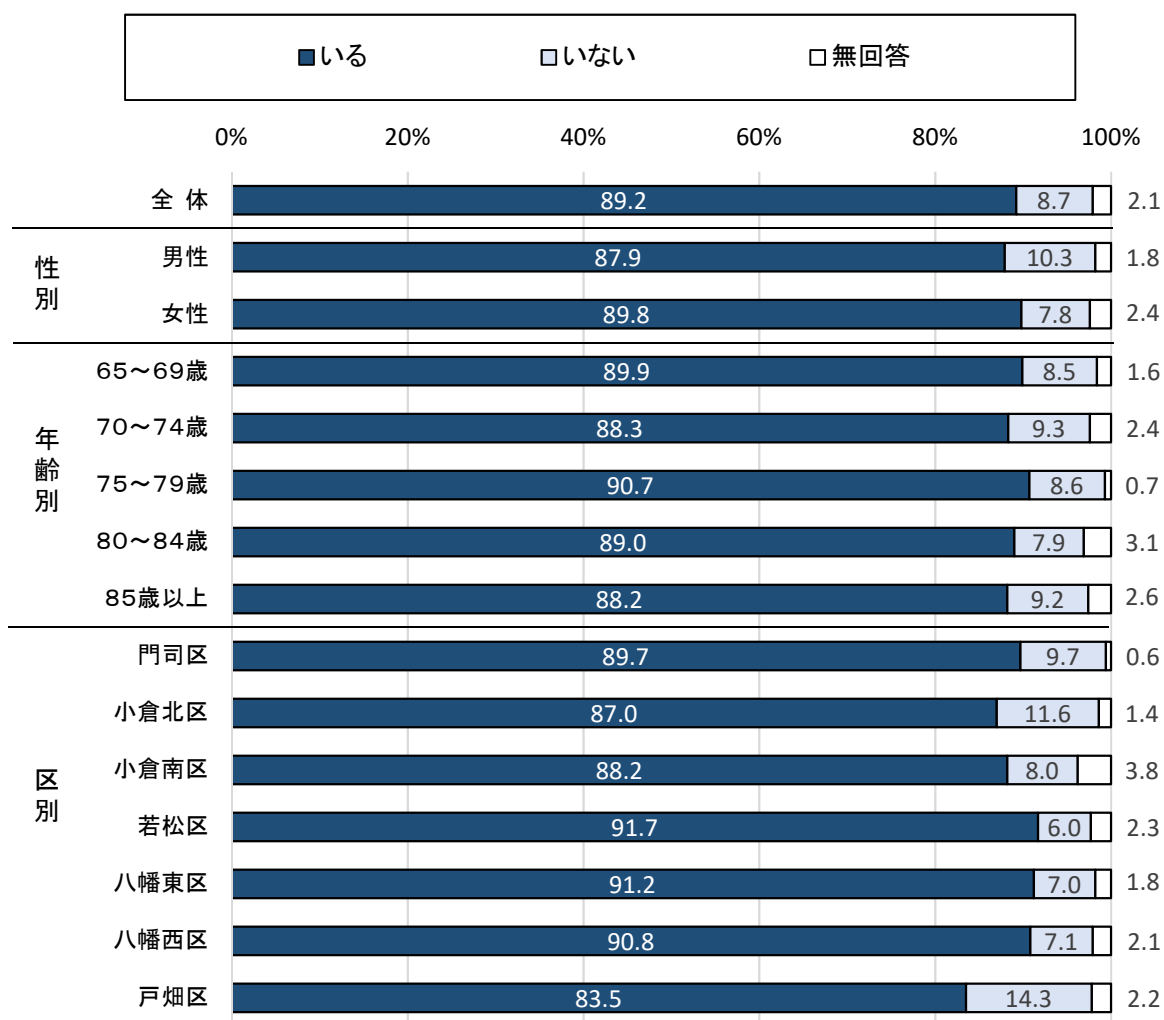
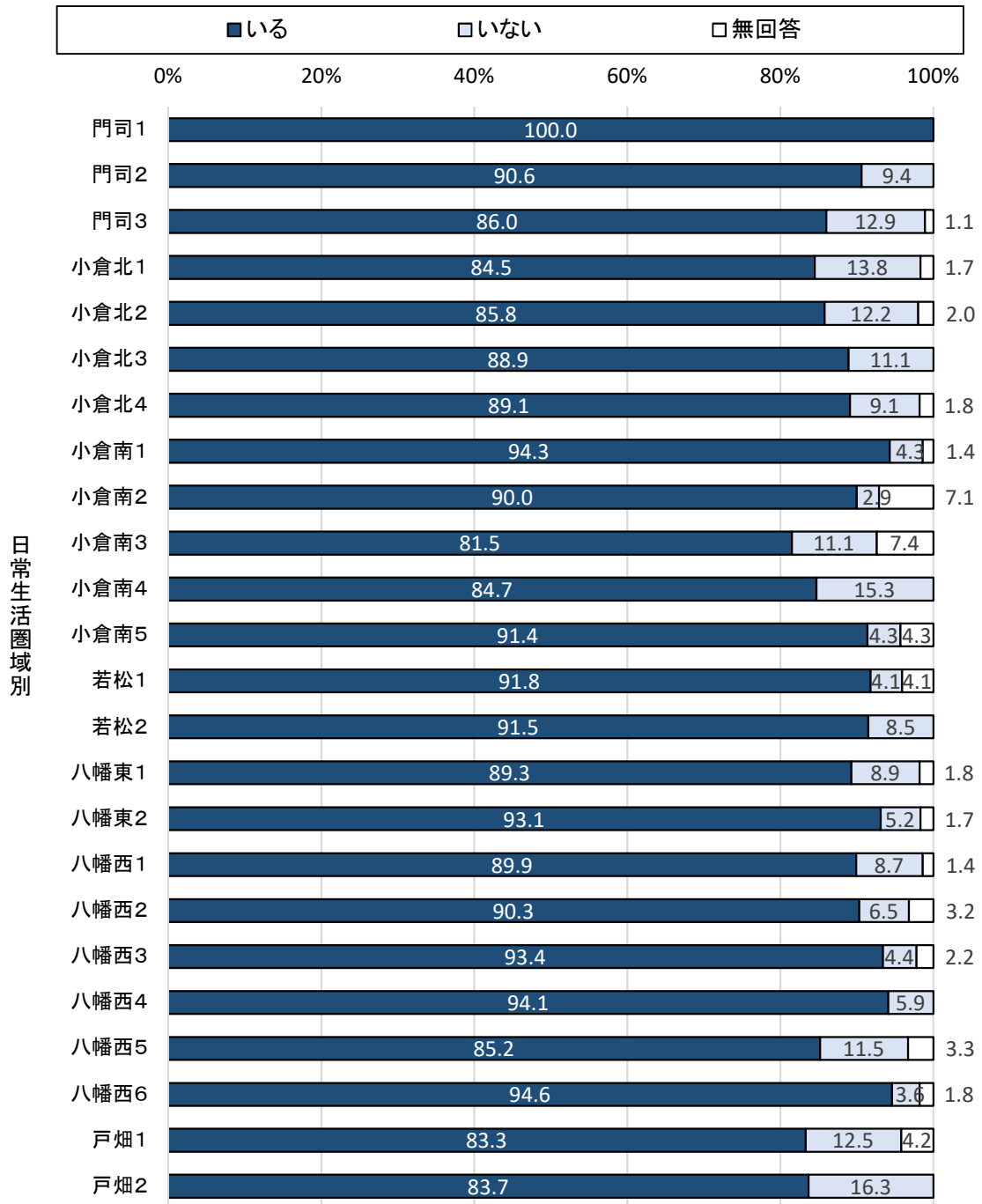


図4-13-② 看病や世話をしてくれる人【日常生活圏域別】



(4) 看病や世話をしあける人

問6-Q4 看病や世話をしあける人がいますか。

自身が看病や世話をしあける相手があるかどうか尋ねたところ、市全体でみると「いる」と回答した割合が73.8%となっている。この割合を男女別にみると、男性が78.5%、女性が71.4%となっており、男性の方が7.1ポイント高い。これを年齢別にみると、85歳以上が59.2%で最も低くなっている。

図4-14-① 看病や世話をしあける人【全域】

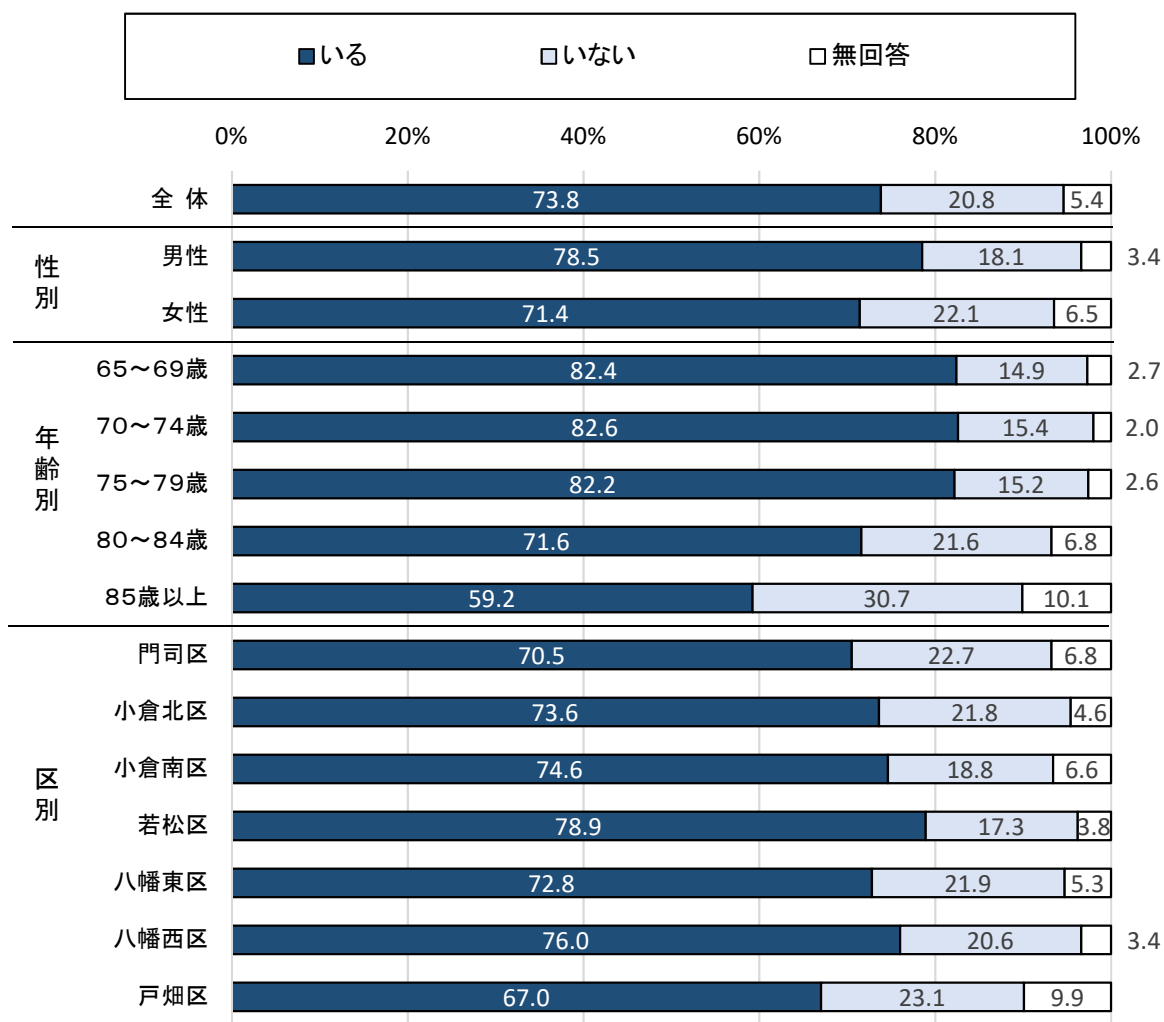
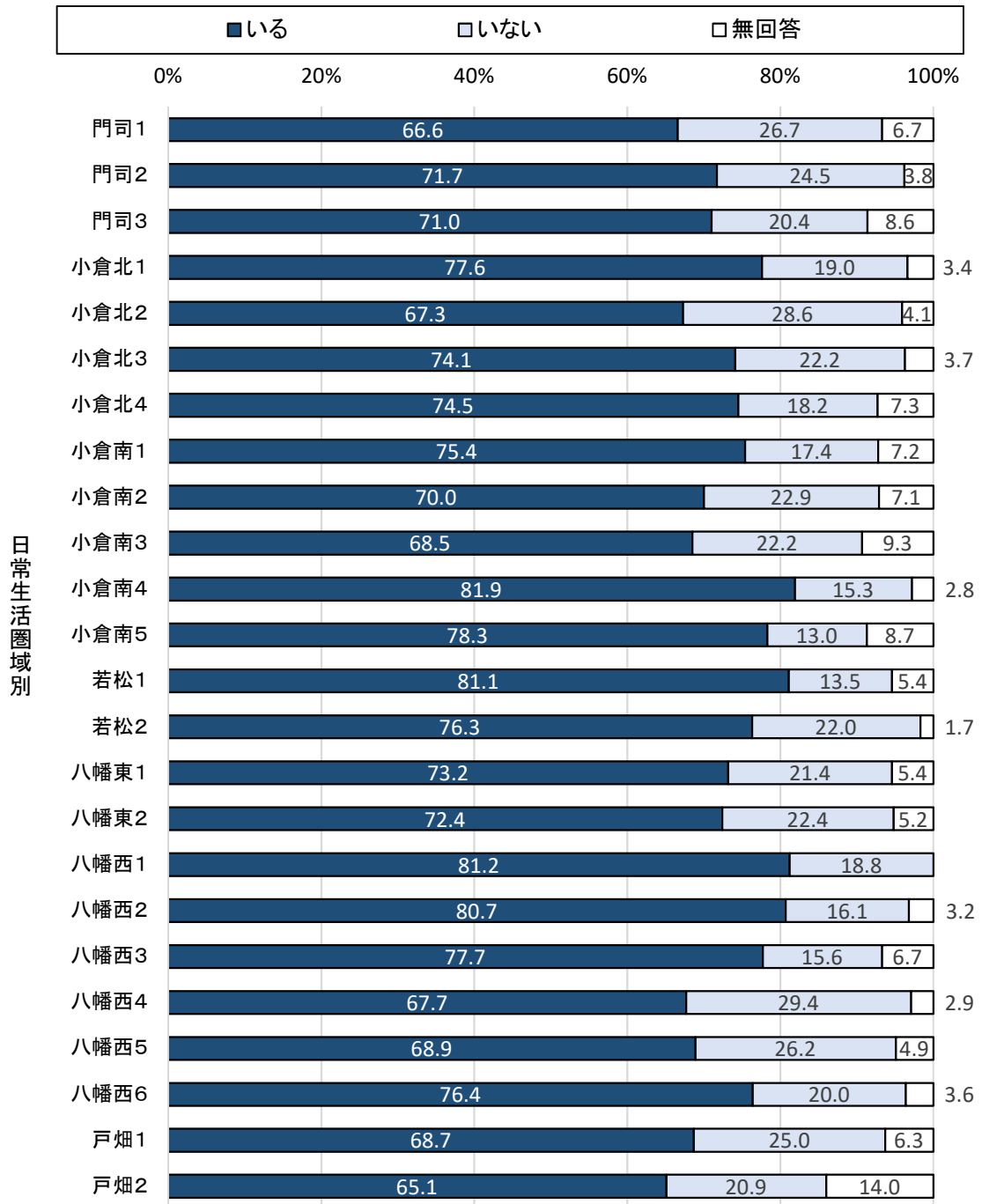


図4-14-② 看病や世話をしあける人【日常生活圏域別】



### 3 認知症に係る相談

#### (1) 自身や家族の認知症の症状

問8-Q1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

自身に認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状があるかどうか尋ねたところ、市全体でみると「はい」と回答した割合が9.9%となっている。この割合を男女別にみると、男性が10.1%、女性が9.7%となっており、ほぼ同じ割合となっている。これを年齢別にみても、同様の割合となっている。

図4-15-① 自身や家族の認知症の症状【全域】

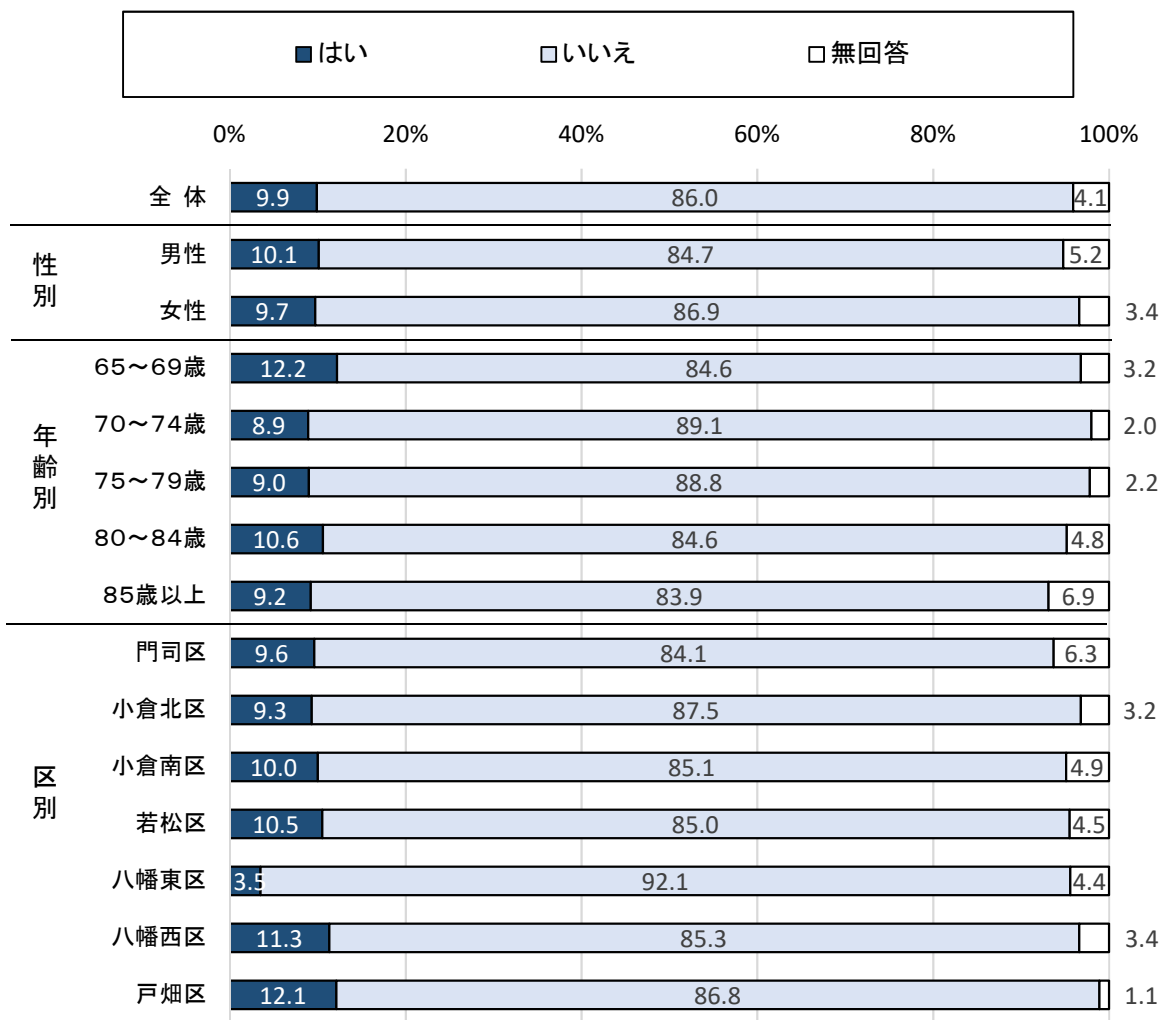
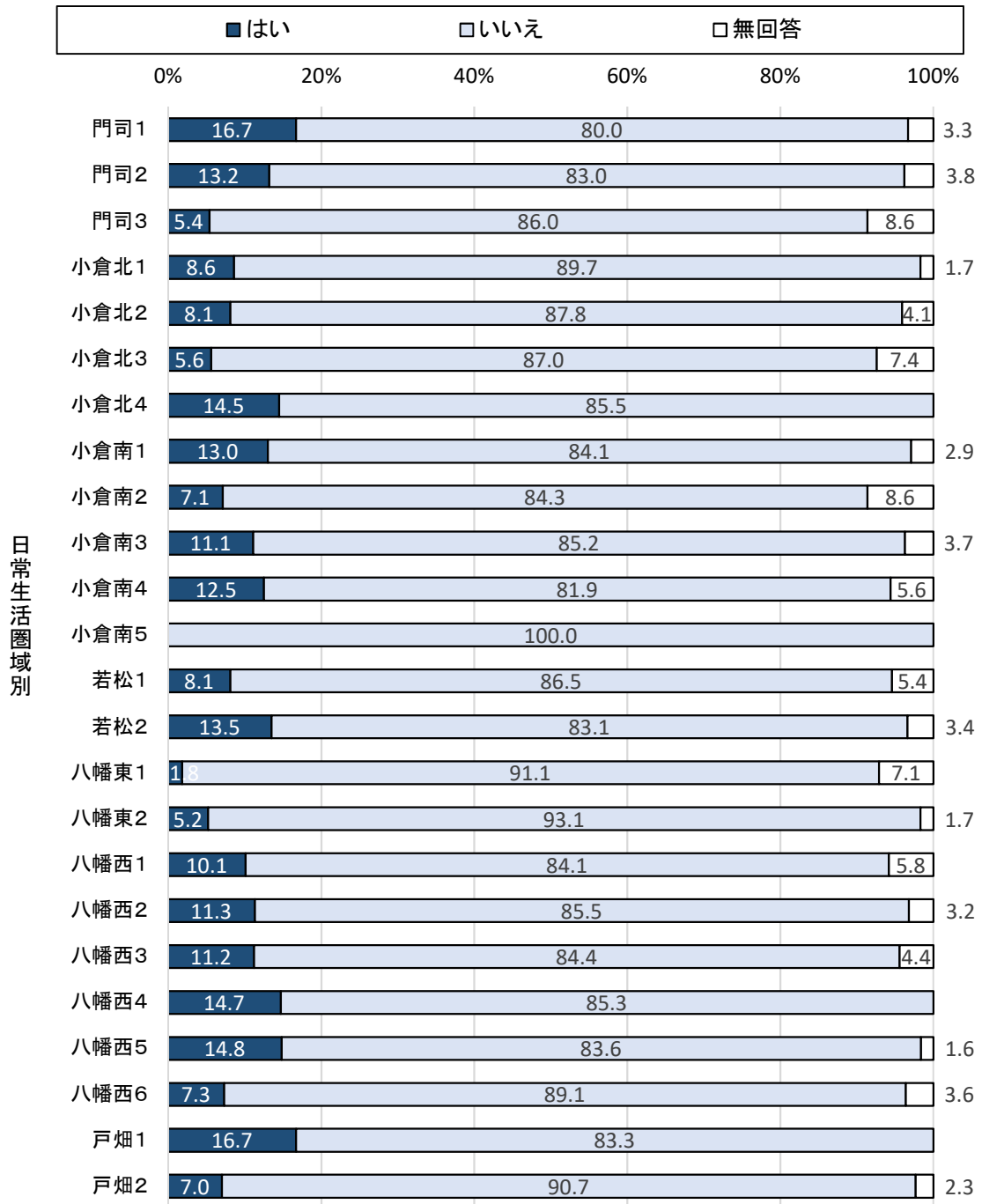


図4-15-② 自身や家族の認知症の症状【日常生活圏域別】



(2) 認知症に関する相談窓口の把握

問8-Q2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口を知っているかどうか尋ねたところ、市全体でみると「はい」と回答した割合が28.5%となっている。この割合を男女別にみると、男性が24.4%、女性が31.4%となっており、女性の方が7.0ポイント高い。これを年齢別にみると、75～79歳が31.6%と最も高くなっている。

図4-16-① 認知症に関する相談窓口の把握【全域】

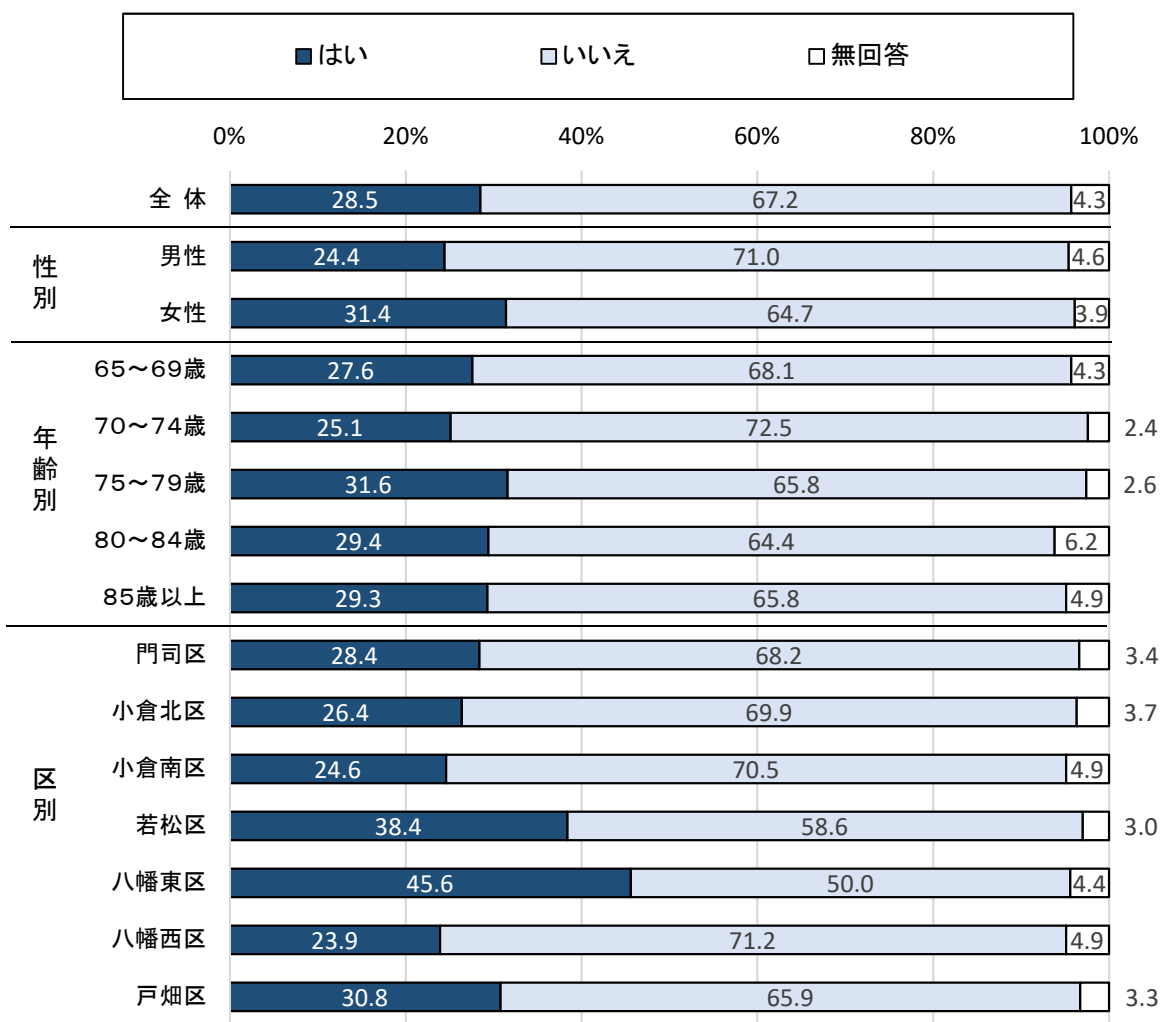
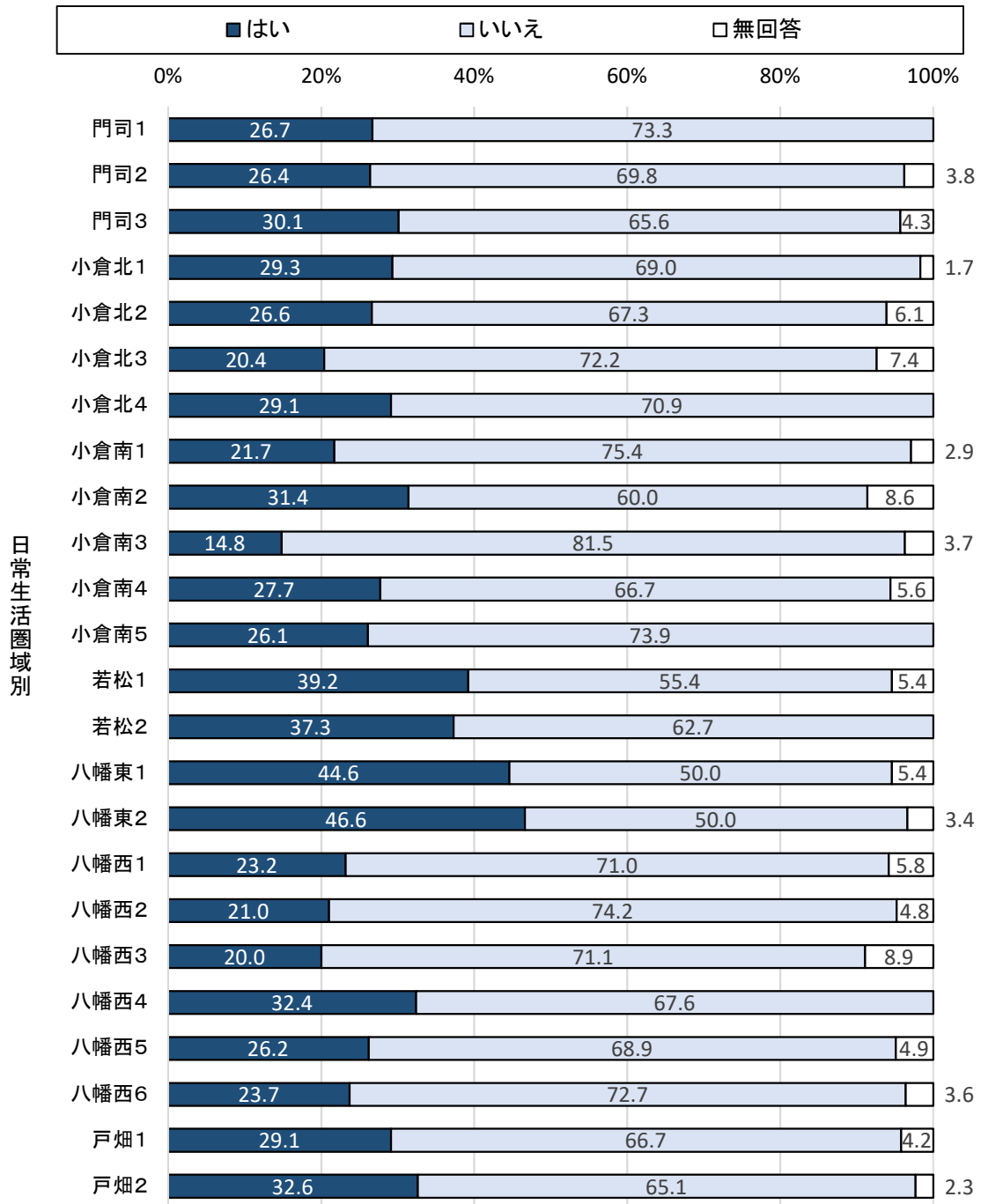


図4-16-② 認知症に関する相談窓口の把握【日常生活圏域別】





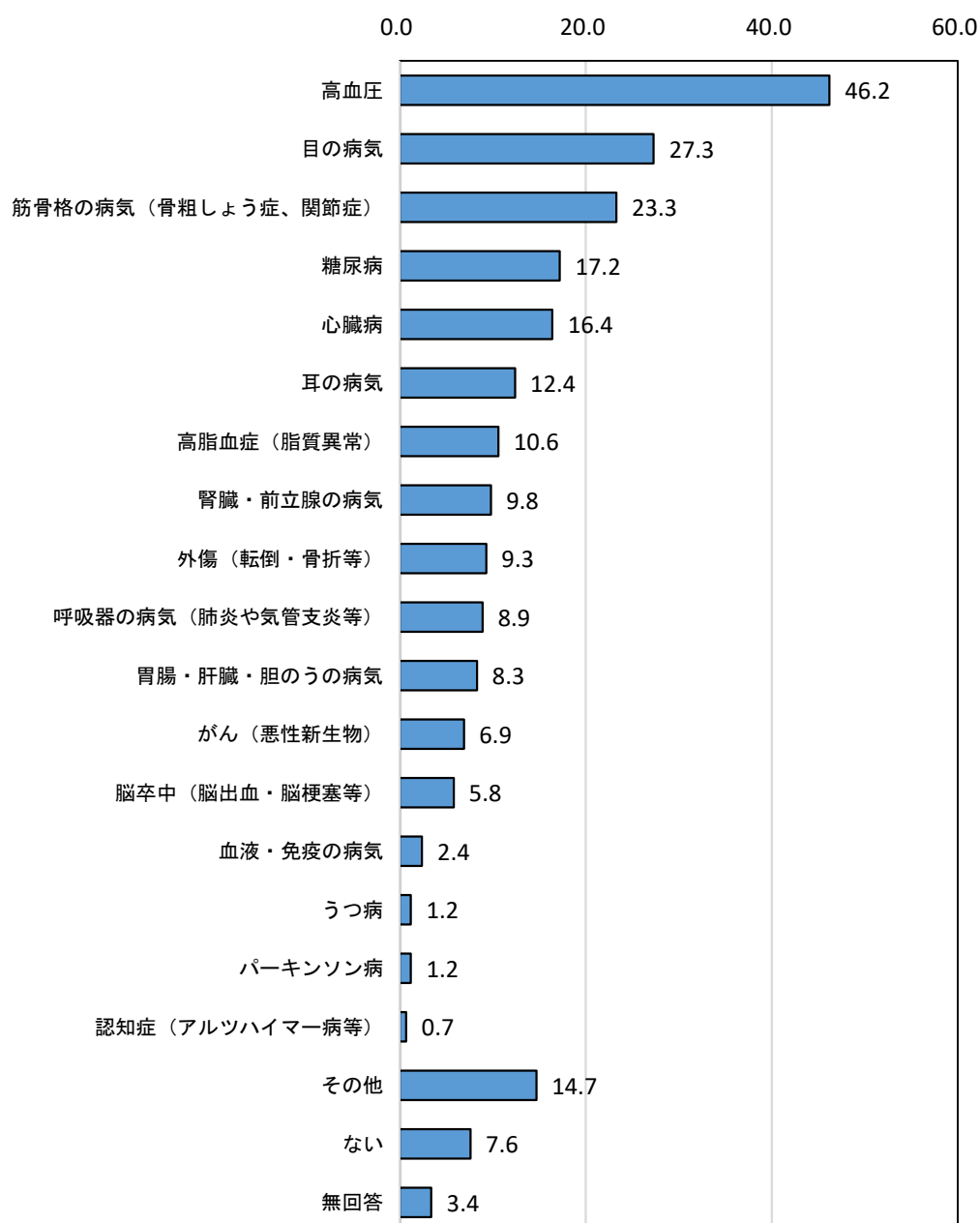
## 第5章 健康・疾病

### 1 疾病

問7-Q6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

現在治療中、または後遺症のある病気については、市全体でみると「高血圧」の割合が46.2%で最も高く、次いで「目の病気」27.3%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」23.3%、「糖尿病」17.2%、「心臓病」16.4%などとなっている。

図5-1 現在治療中または後遺症のある病気



(1) 高血圧

高血圧の有病率は、市全体でみると 46.2%となっている。男女別にみると、男性が 45.6%、女性が 47.1%となっており、女性の方が 1.5 ポイント高い。年齢別にみると、75 歳以上の年齢層で有病率が高くなっている。

図5-2-① 高血圧の有病率【全域】

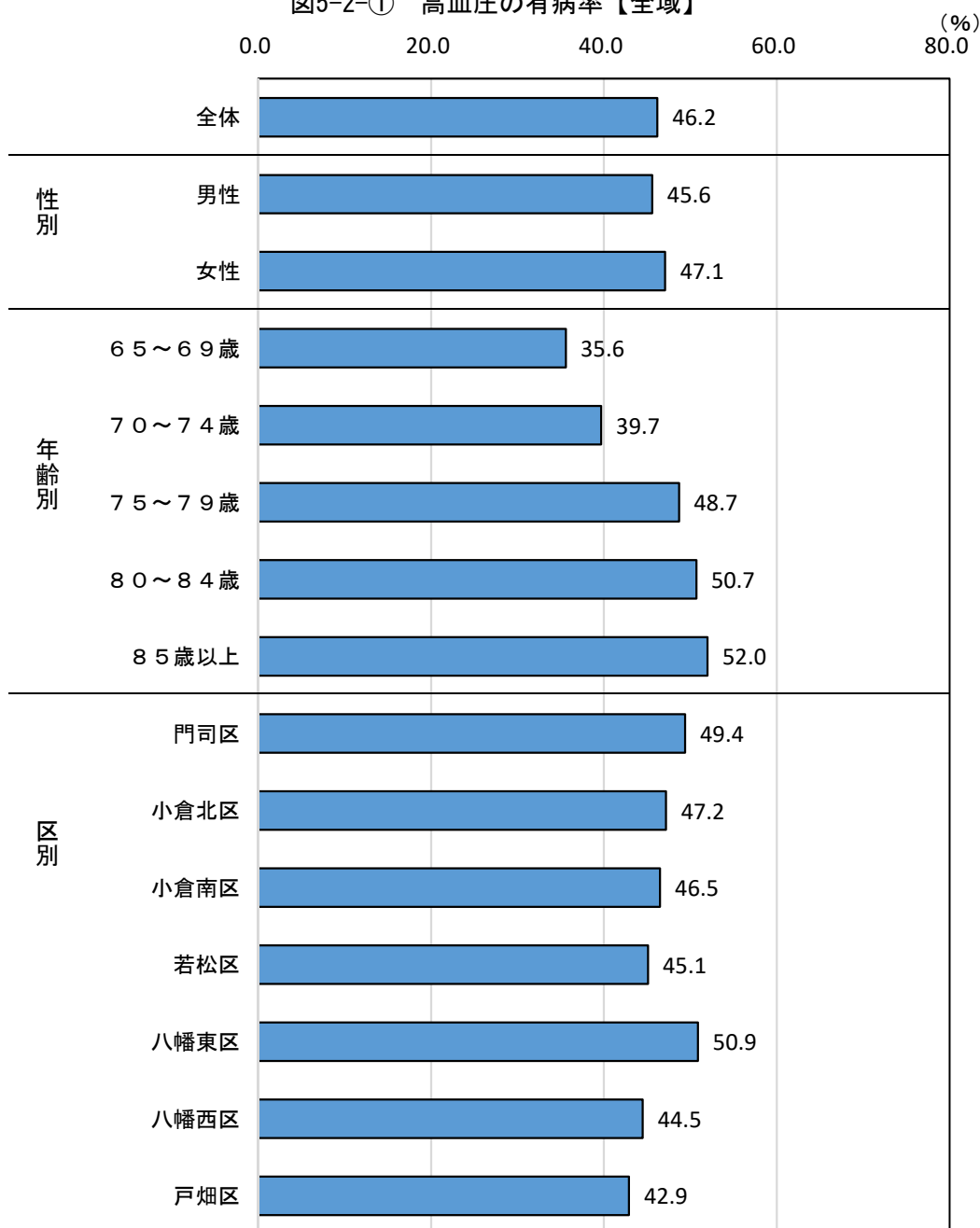
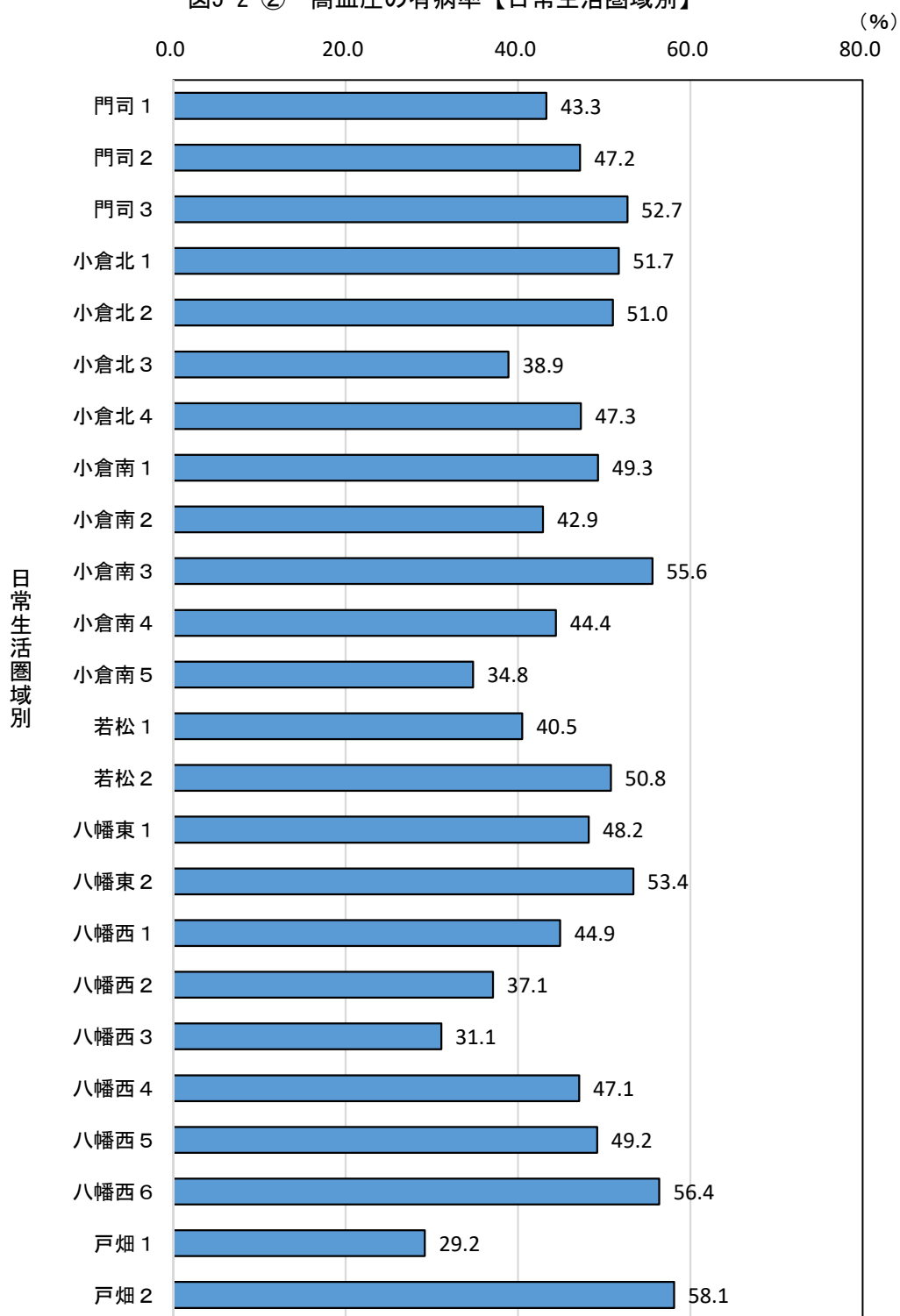


図5-2-② 高血圧の有病率【日常生活圏域別】



(2) 脳卒中

脳卒中（脳出血・脳梗塞等）の有病率は、市全体でみると 5.8%となっている。男女別にみると、男性が 8.5%、女性が 4.2%となっており、男性の方が 4.3 ポイント高い。年齢別にみると、70 歳以上の年齢層で有病率が高い傾向がみられる。

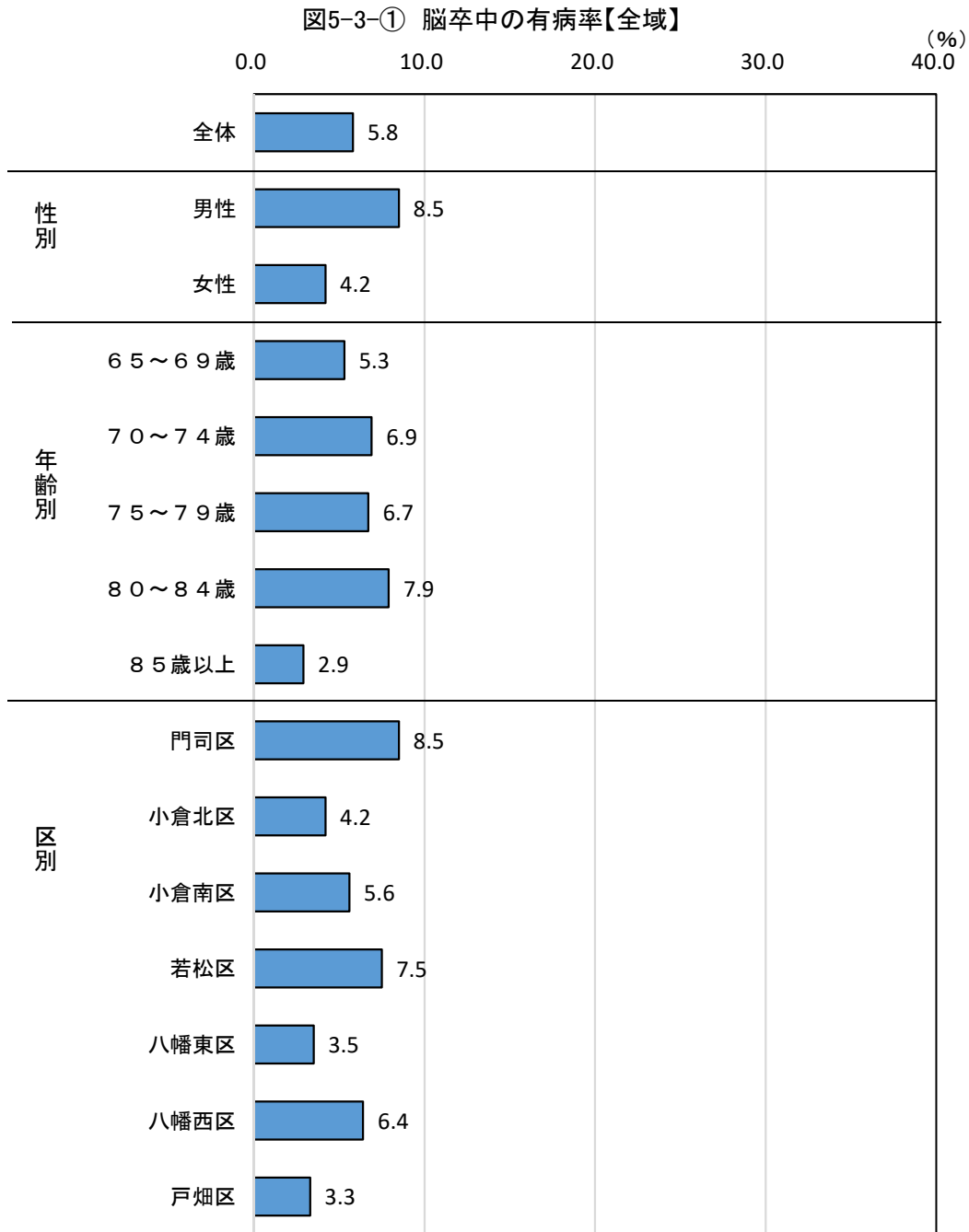
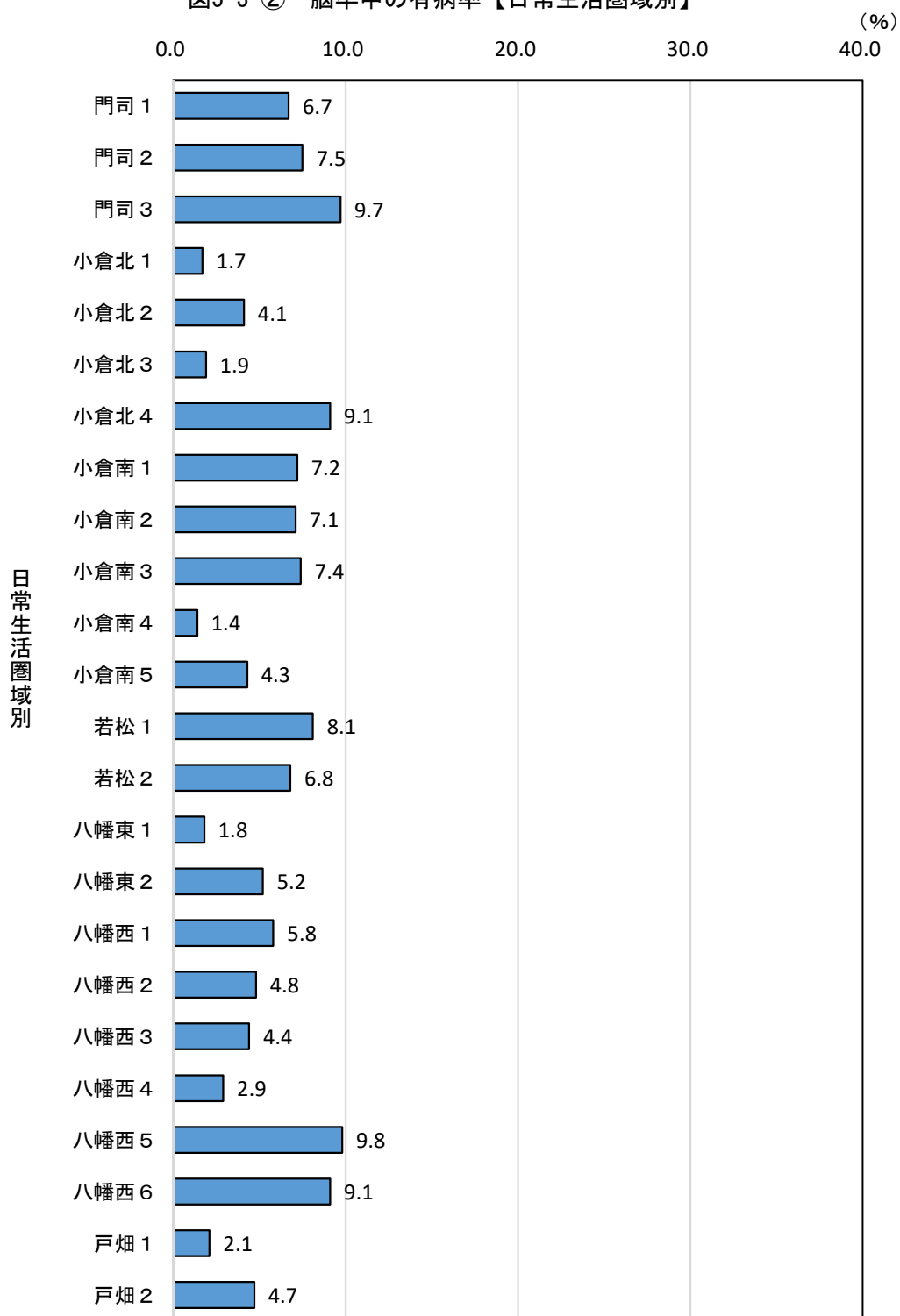


図5-3-② 脳卒中の有病率【日常生活圏域別】



### (3) 心臓病

心臓病についてみると、市全体の有病率は 16.4%となっている。男女別にみると、男性が 20.2%、女性が 14.4%となっており、男性の方が 5.8 ポイント高い。年齢別にみると、年齢層が上がるにしたがって高くなっている。

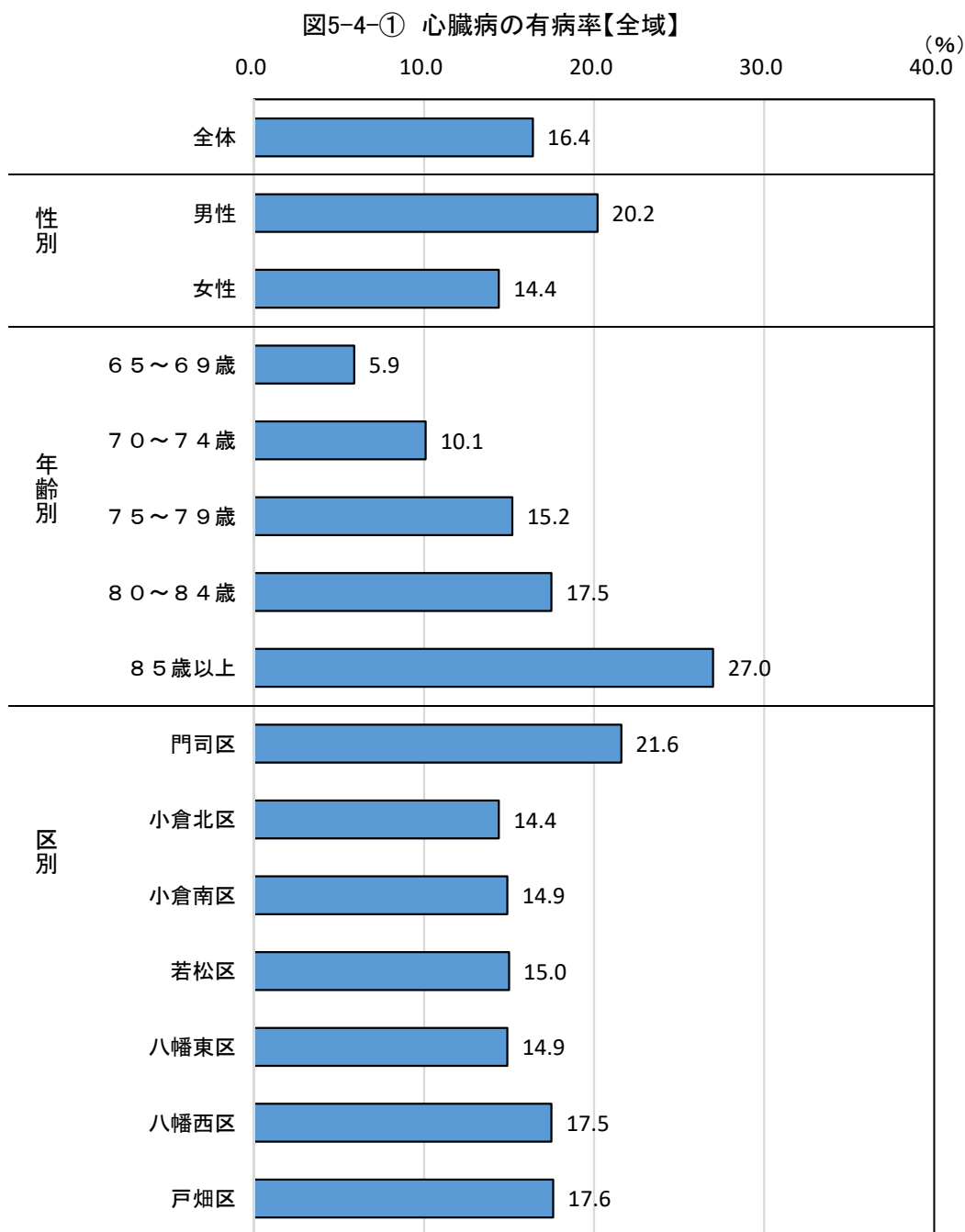
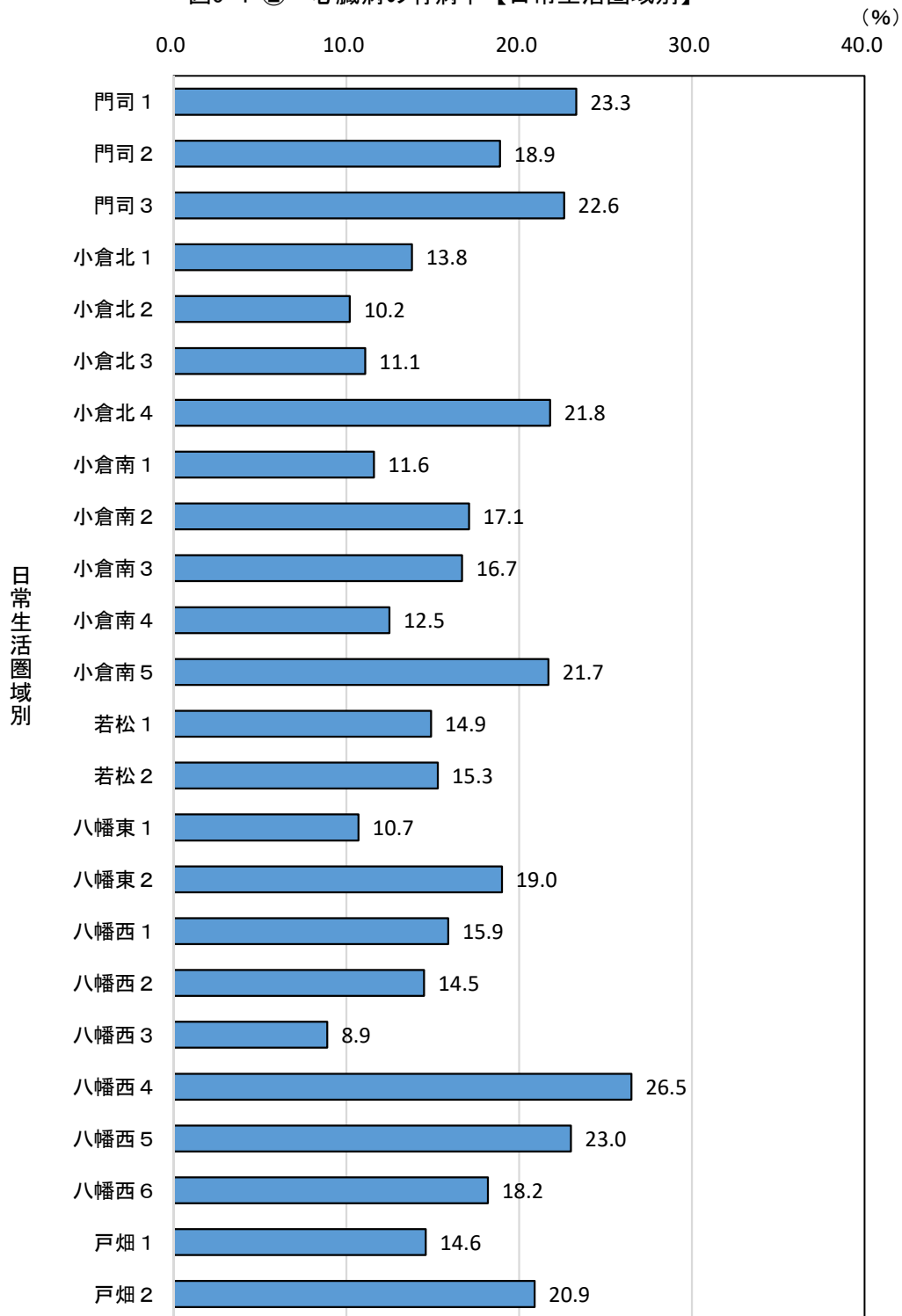


図5-4-② 心臓病の有病率【日常生活圏域別】



#### (4) 糖尿病

糖尿病についてみると、市全体の有病率は 17.2%となっている。男女別にみると、男性が 22.8%、女性が 13.7%となっており、男性の方が 9.1 ポイント高い。年齢別にみると、75～79 歳が 20.1%と最も高くなっている。

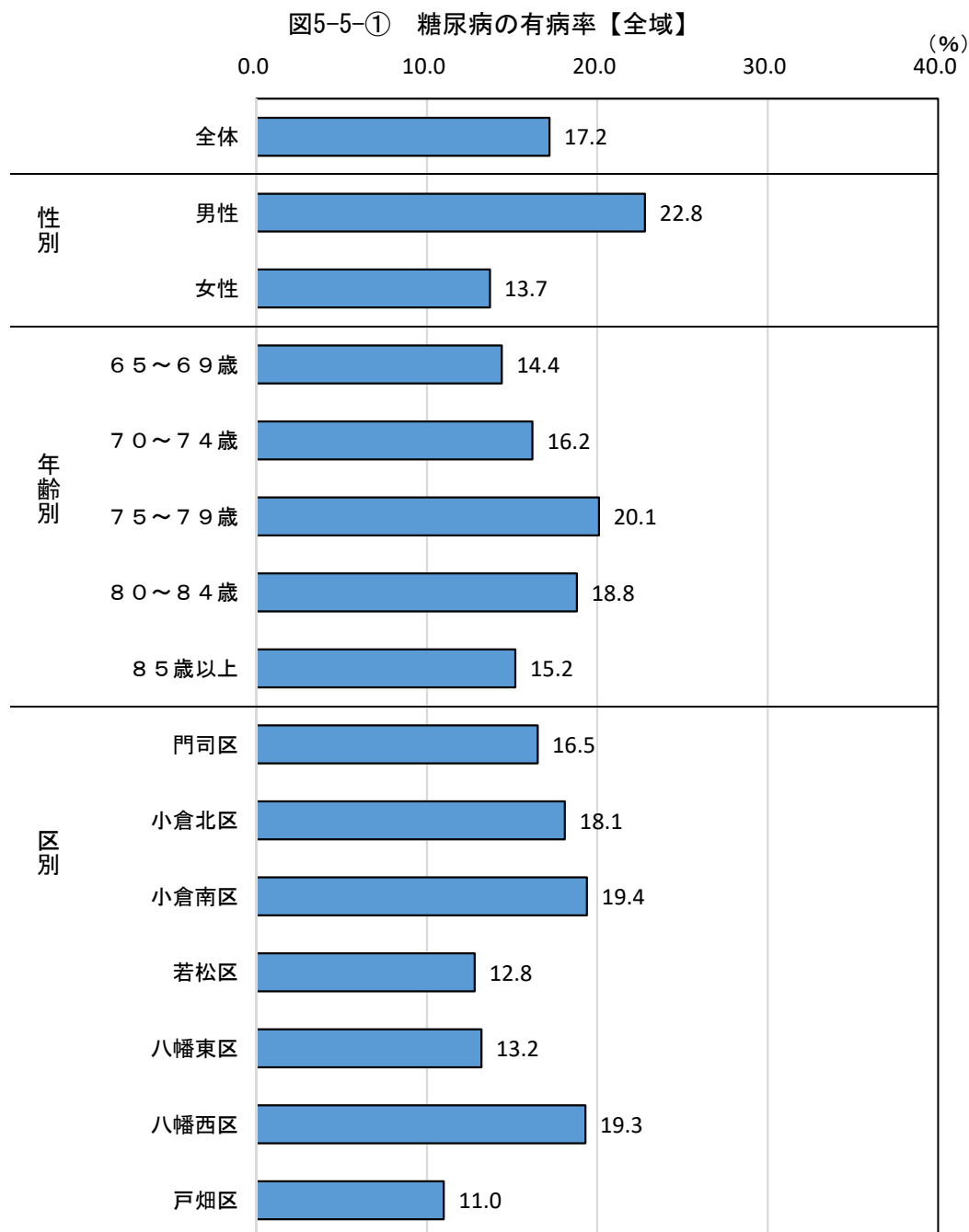
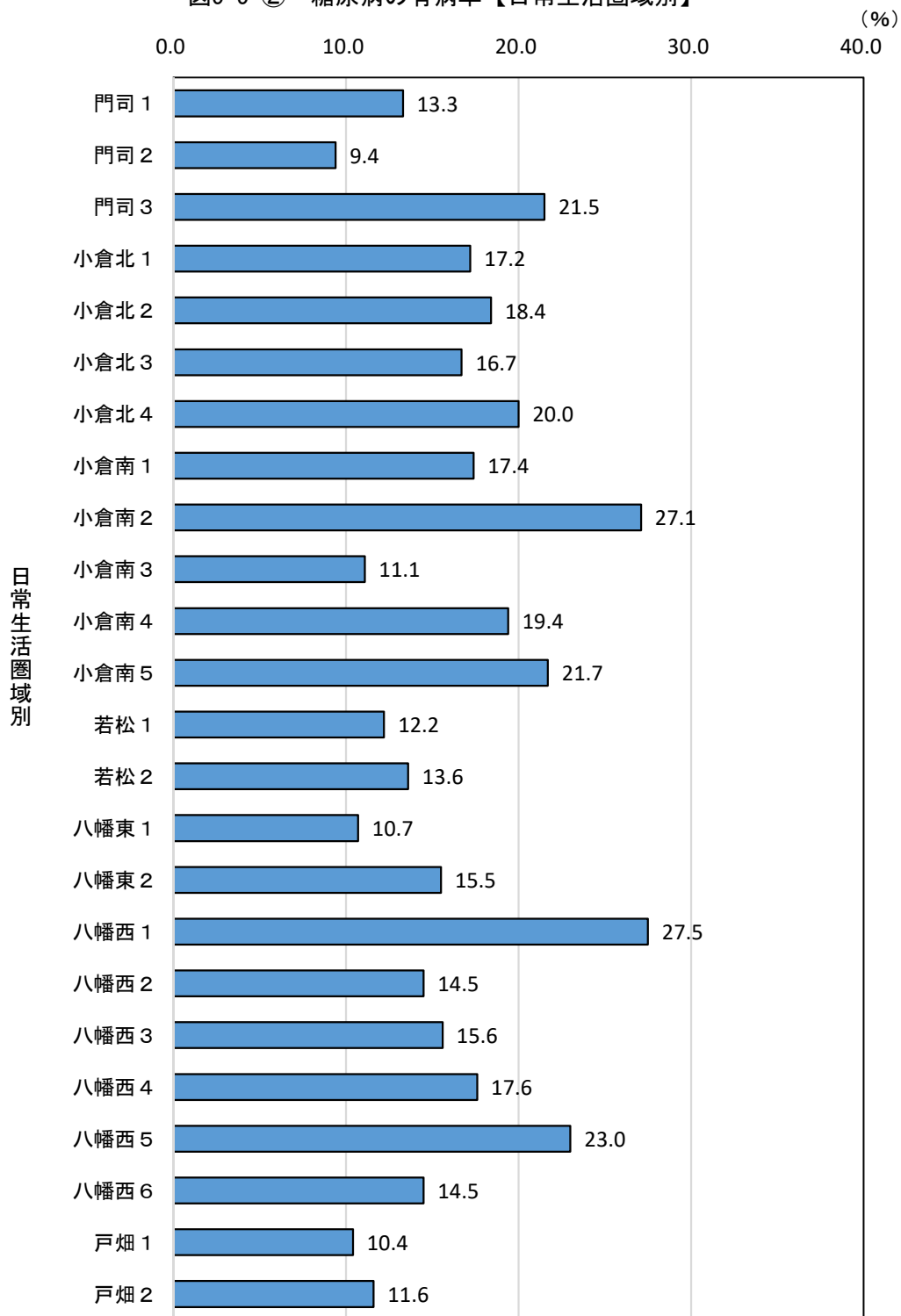




図5-5-② 糖尿病の有病率【日常生活圏域別】



### (5) 筋骨格の病気

筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）の有病率は、市全体で見ると 23.3%となっている。男女別にみると、男性が 9.9%、女性が 30.9%となっており、女性の方が 21.0 ポイント高い。年齢別にみると、80～84 歳までは年齢層が上がるにしたがって高くなっている。

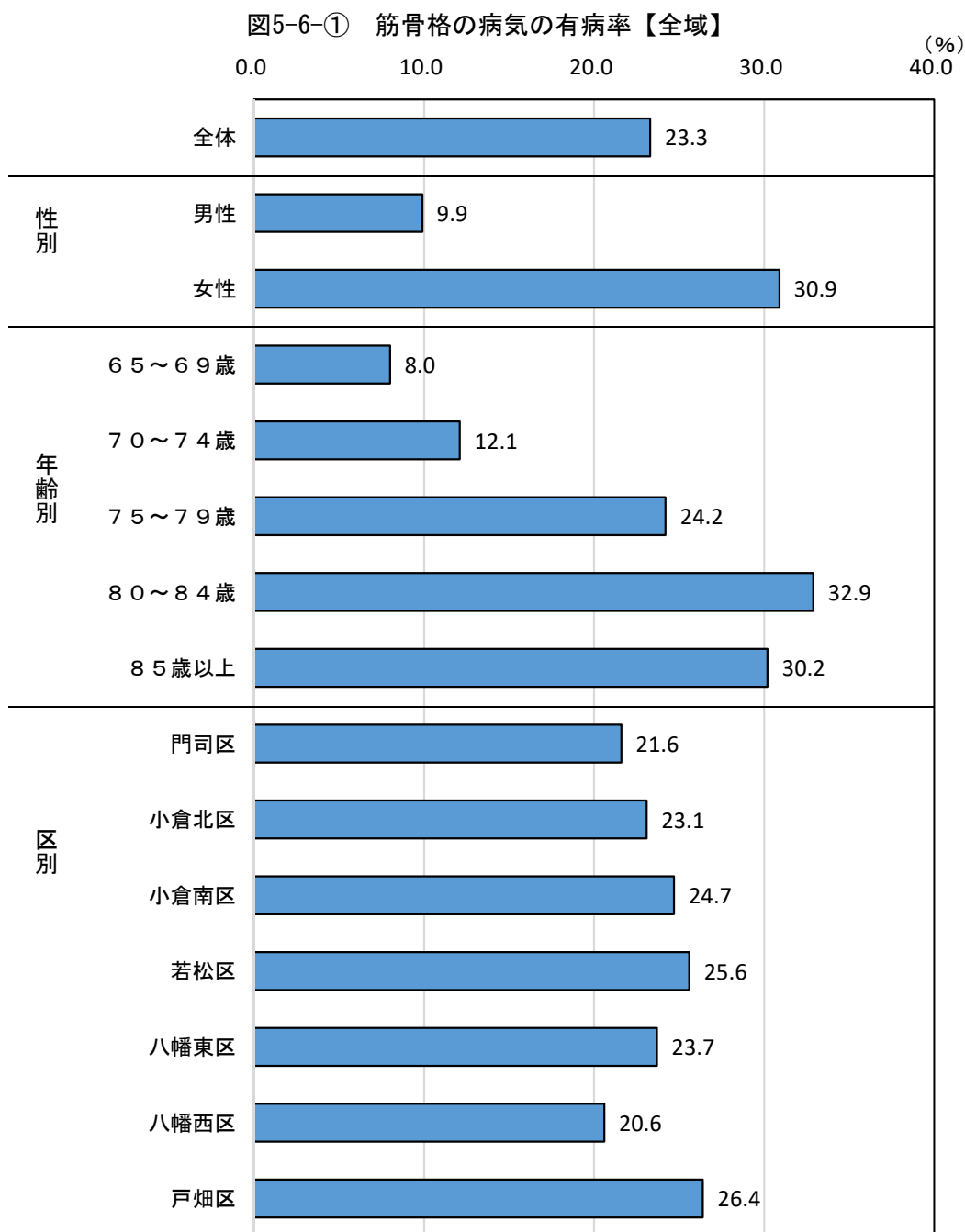
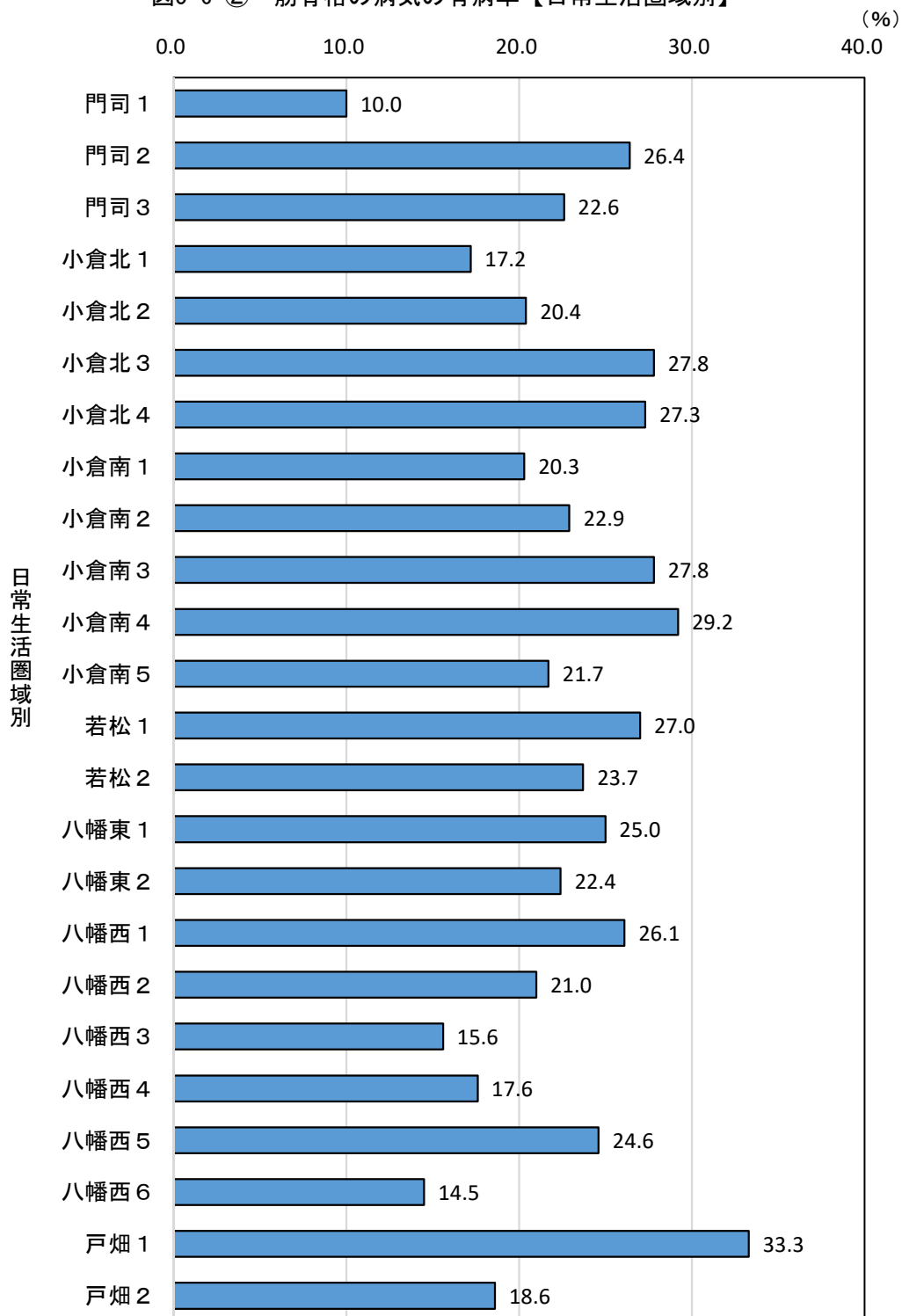


図5-6-② 筋骨格の病気の有病率【日常生活圏域別】



(6) がん

がん（悪性新生物）の有病率は、市全体で見ると 6.9%となっている。男女別にみると、男性が 8.7%、女性が 5.9%となっており、男性の方が 2.8 ポイント高い。年齢別にみると、65～69 歳が 3.2%と最も低く、その他の年齢層では顕著な差はみられない。

図5-7-① がんの有病率【全域】

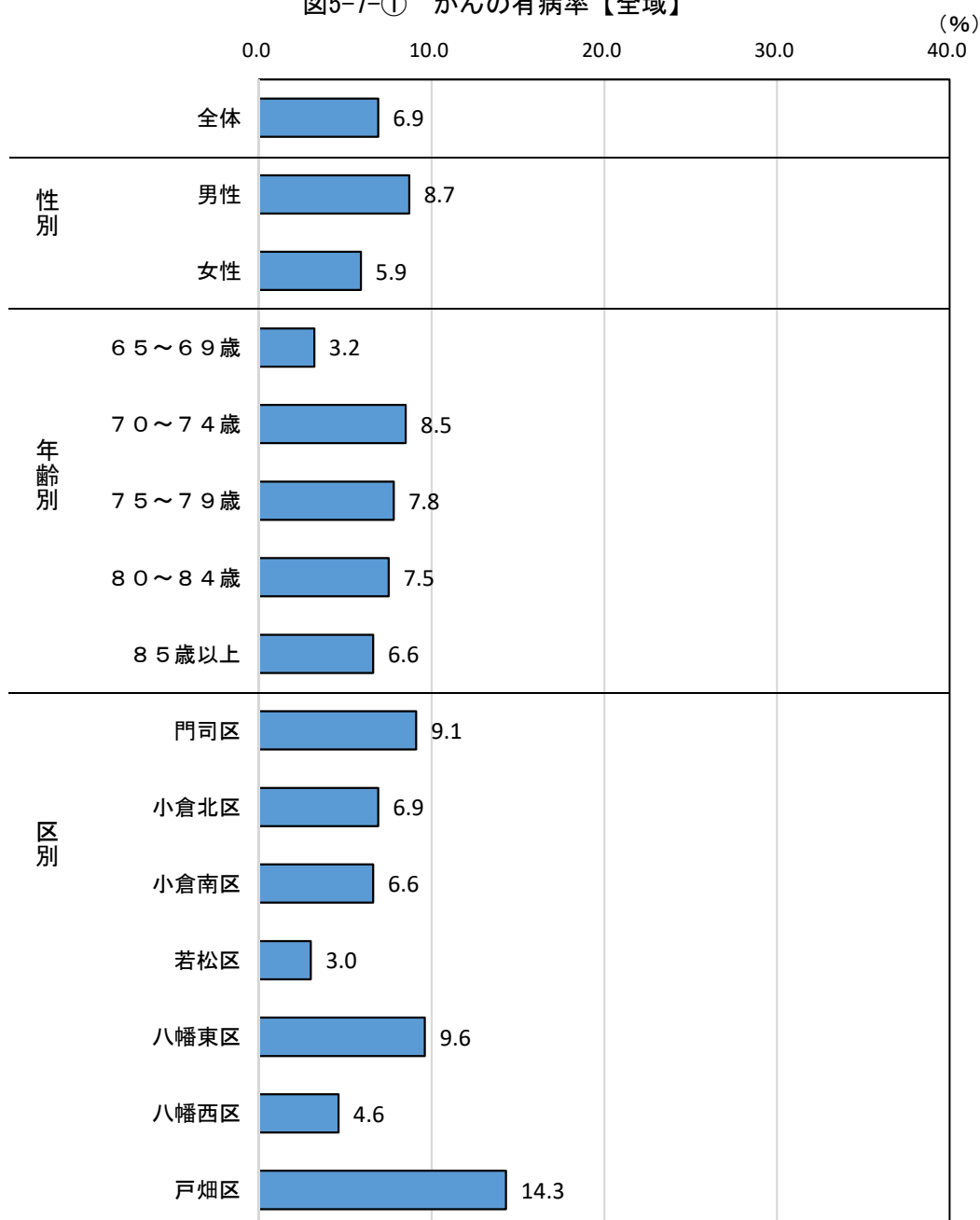
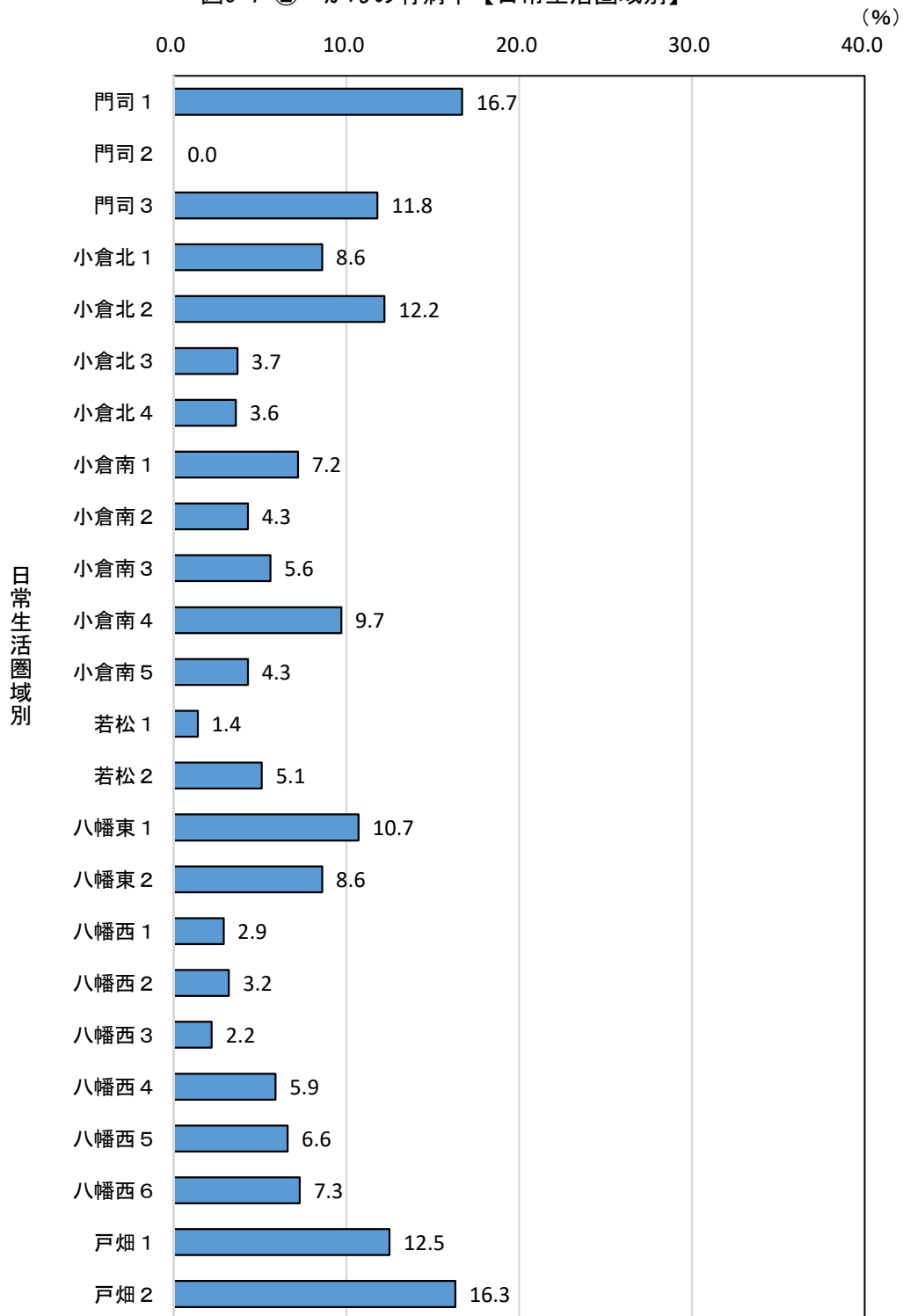


図5-7-② がんの有病率【日常生活圏域別】



## 2 主観的健康感

### (1) 健康状態

問7-Q1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

主観的健康感に関する回答結果は、市全体で見ると「まあよい」の割合が51.1%で最も高く、次いで「あまりよくない」31.7%、「よくない」8.4%、「とてもよい」6.2%の順となっており、「とてもよい」と「まあよい」の合計（健康群）は57.3%となっている。

健康群の割合を男女別にみると、男性が58.1%、女性が56.6%となっており、男性の方が1.5ポイント高い。年齢別にみると、健康群の割合は年齢層が上がるにしたがって低くなっている。

図5-8-① 現在の健康状態【全域】

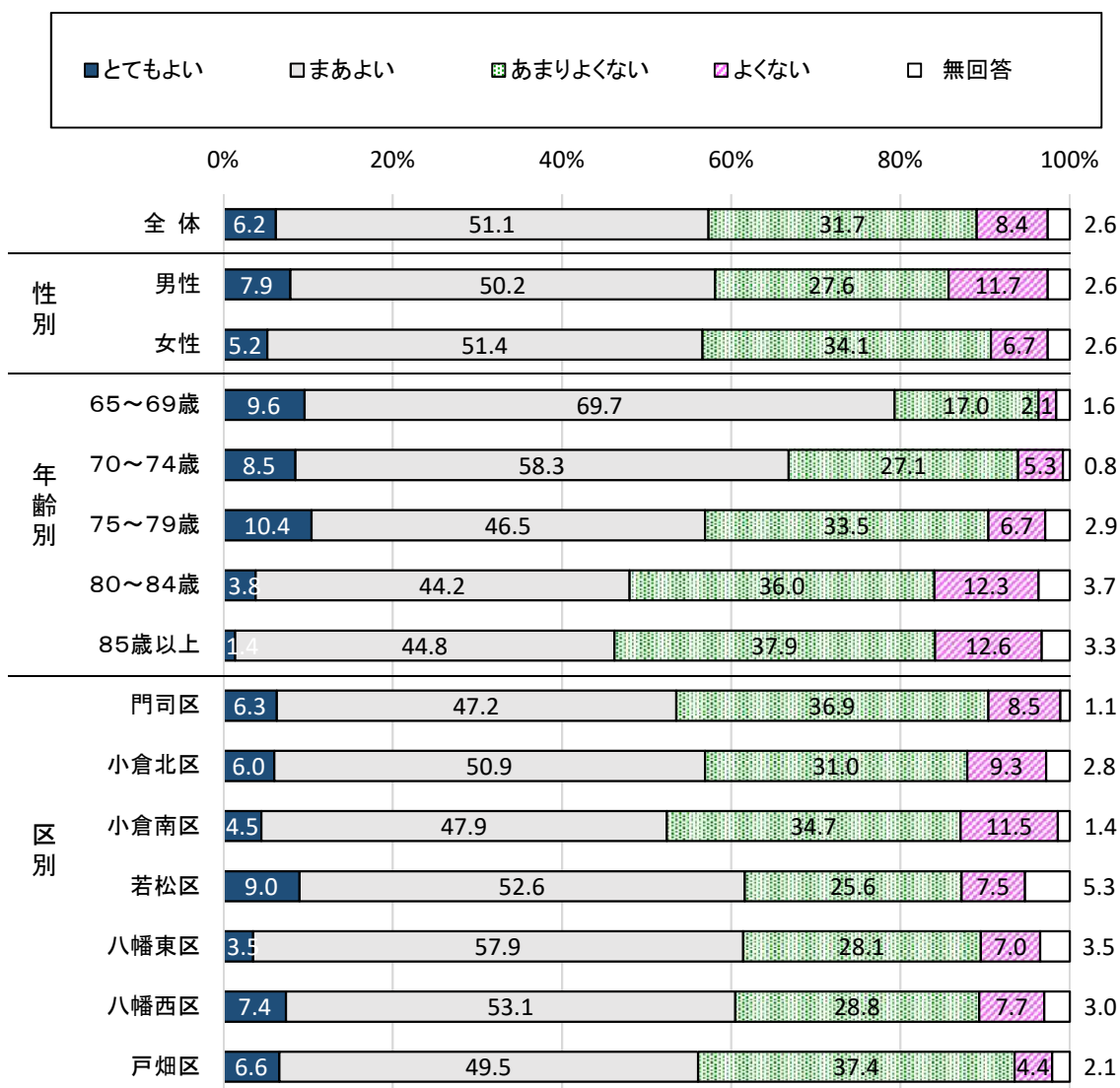
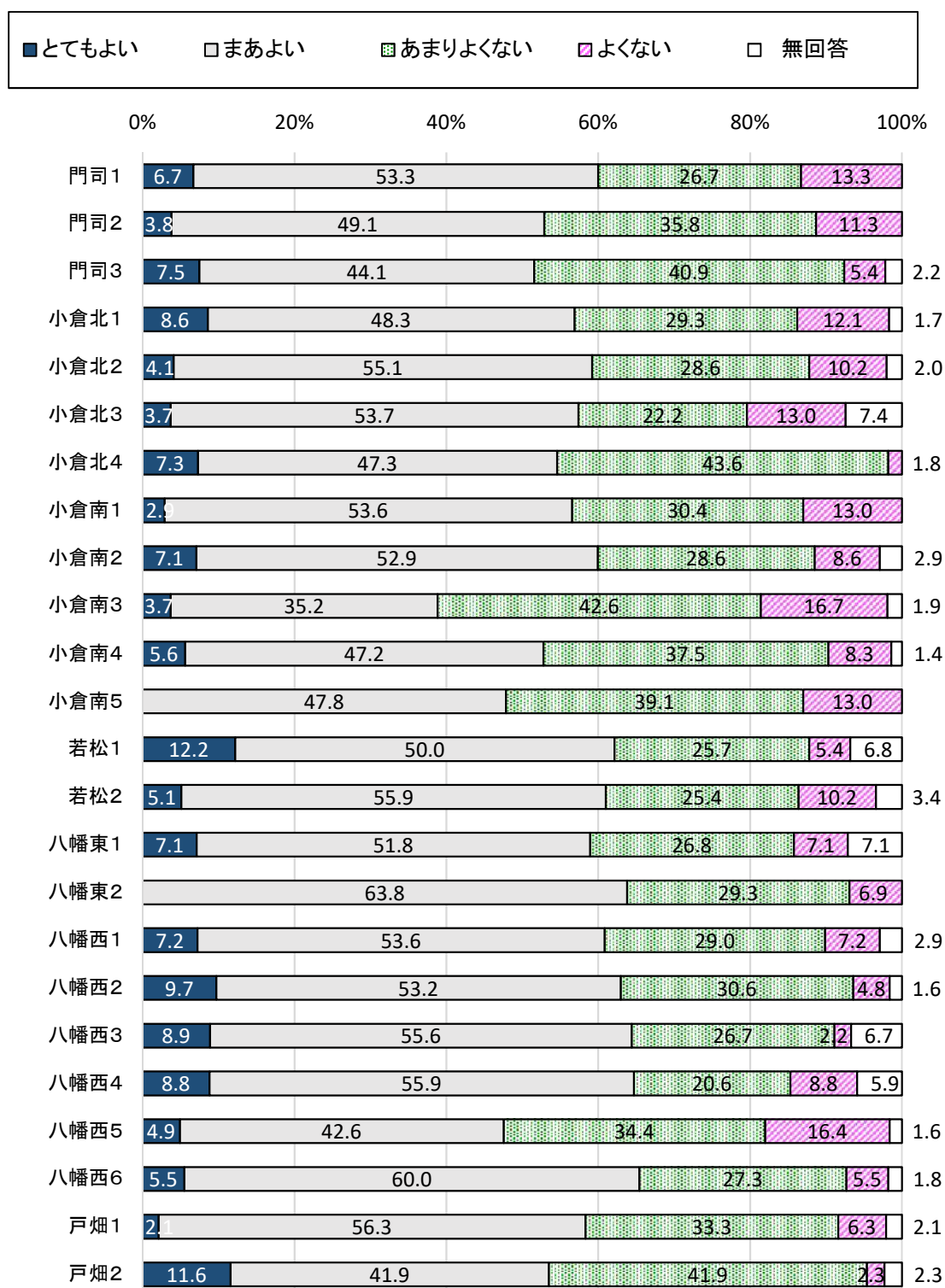


図5-8-② 現在の健康状態【日常生活圏域別】



(2) 幸福感

問7-Q2 あなたは、現在どの程度幸せですか。

自身の幸福感について、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として尋ねたところ、市全体でみると平均値が6.8となっている。この数値を男女別にみると、男性が6.5、女性が7.1となっており、女性の方が平均値が高い。これを年齢別にみると、75～79歳が7.1と最も高くなっているものの、その他の年齢層と大きな差は見られない。

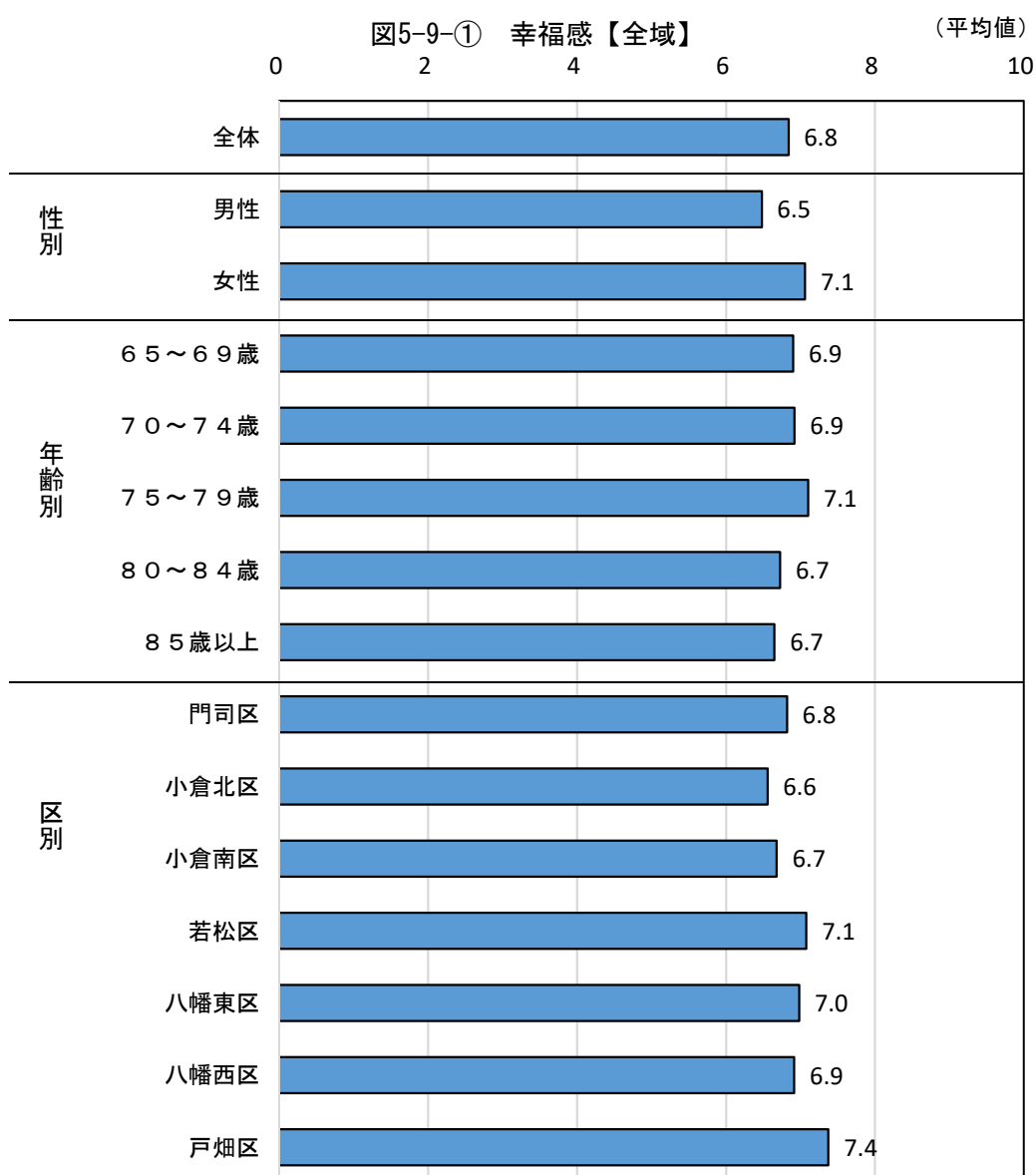
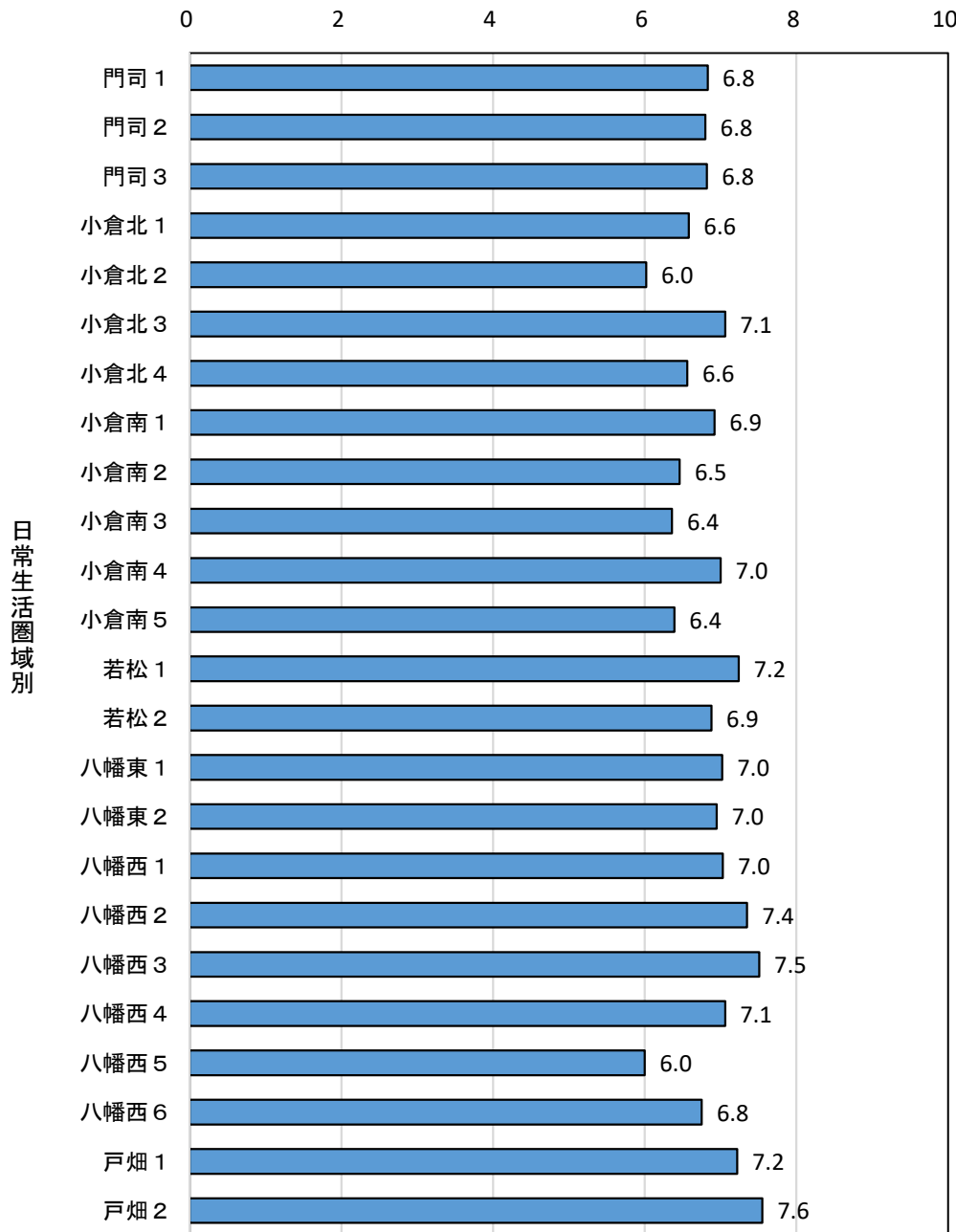




図5-9-② 幸福感【日常生活圏域別】

(平均値)



## 第6章 介護

### 1 介護・介助の状況

問1-Q2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

介護・介助の状況については、「介護・介助は必要ない」の割合が53.9%で最も高い。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は19.6%、「現在、何らかの介護を受けている（家族などの介護）」22.7%となっている。

「介護・介助は必要ない」の割合を男女別にみると、男性が61.7%、女性が49.8%となっており、男性の方が11.9ポイント高い。年齢別にみると、年齢層が上がるにしたがって割合が低くなっている。

図6-1-① 介護・介助の状況【全域】

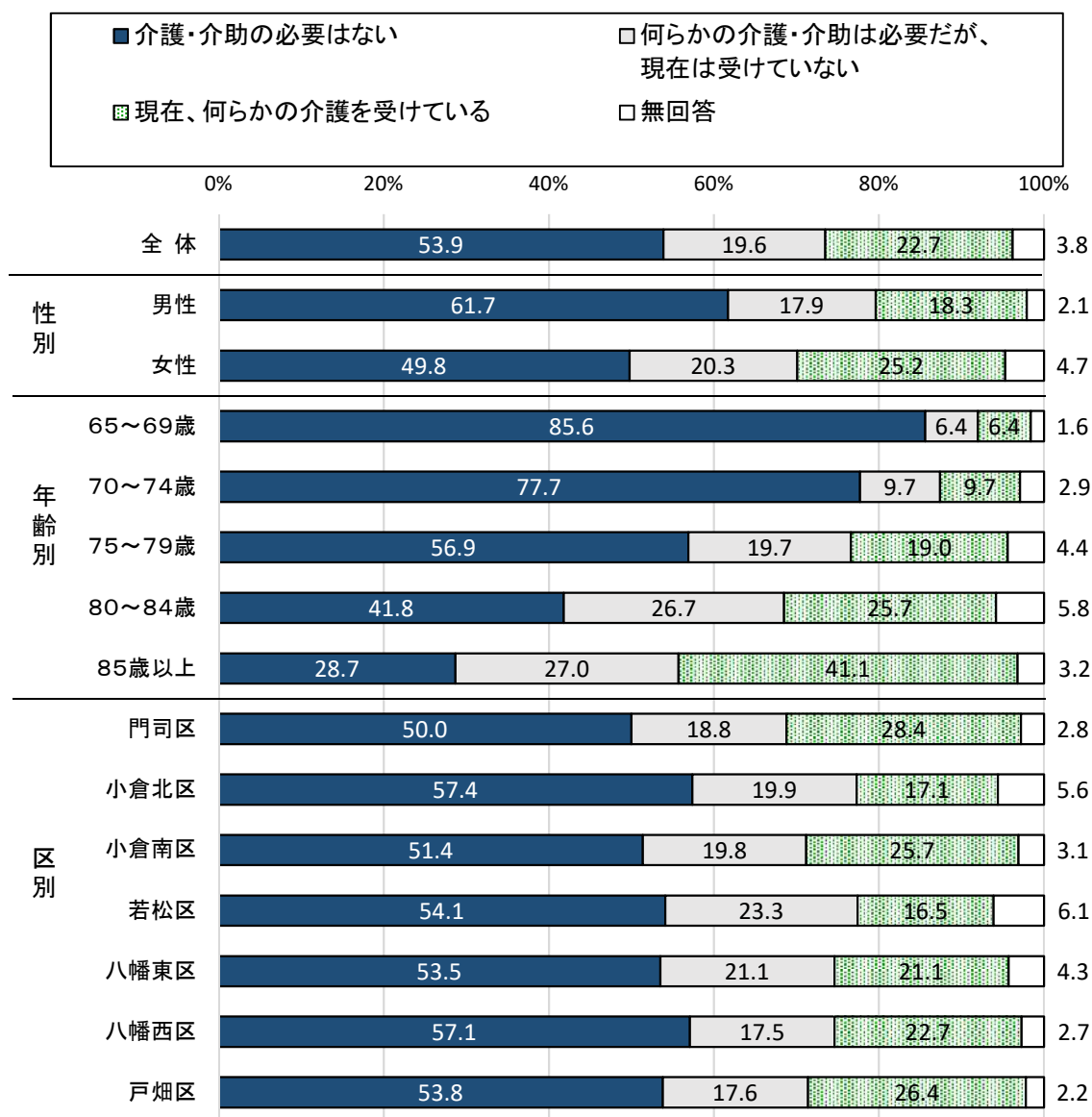


図6-1-② 介護・介助の状況 【日常生活圏域別】

